

大島海洋国際高等学校 令和5年度 教科 国語 科目 現代文B 年間授業計画

教科：（国語）科目：（現代文B） 単位数：A組 3 単位
対象学年組： 第3学年A組
教科担当者：教科担当者：A組 須賀
使用教科書：現代文B（教育出版）
使用教材：パーフェクト常用漢字

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	文章表現演習	○下記の点に着目しながら、問題を解く。 ・話し言葉と書き言葉の違いを理解する ・評論文の読解の仕方 ・筆者の主張を捉える	関心・意欲・態度 読む力・聞く力 プリント、テキストの提出	5
5月	評論①	○難解な評論を的確に読み取る力をつける。さらに、書かれた内容に対する自分の意見を的確に述べる力をつける。 ・主語(主部)・述語(述部)の把握 ・抽象度の高い語句の正確な理解 ・各段落の全体構成における役割	関心・意欲・態度 読む力・聞く力 ワークシート	9
6月	評論②	○難解な評論を的確に読み取る力をつける。さらに、書かれた内容に対する自分の意見を的確に述べる力をつける。 ・主語(主部)・述語(述部)の把握 ・抽象度の高い語句の正確な理解 ・各段落の全体構成における役割	関心・意欲・態度 読む力・聞く力 ワークシート	9
7月	評論③	○難解な評論を的確に読み取る力をつける。さらに、書かれた内容に対する自分の意見を的確に述べる力をつける。 ・主語(主部)・述語(述部)の把握 ・抽象度の高い語句の正確な理解 ・各段落の全体構成における役割	関心・意欲・態度 読む力・聞く力 ワークシート	2

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8月				
9月	評論③ 評論④	○難解な評論を的確に読み取る力をつける。さらに、書かれた内容に対する自分の意見を的確に述べる力をつける。 ・対比、二項対立の把握 ・抽象度の高い語句の正確な理解 ・各段落の全体構成における役割	関心・意欲・態度 読む力・聞く力 ワークシート	7
10月	評論⑤	○難解な評論を的確に読み取る力をつける。さらに、書かれた内容に対する自分の意見を的確に述べる力をつける。 ・対比、二項対立の把握 ・抽象度の高い語句の正確な理解 ・各段落の全体構成における役割	関心・意欲・態度 読む力・聞く力 ワークシート	9
11月	評論⑥	○現代の事象を取り上げた評論について、筆者の主張と、その根拠となる表現を照らし合わせながら精読させる。 ・指示語 ・接続語 ・論の展開	関心・意欲・態度 読む力・聞く力 ワークシート	9
12月	小説①	○登場人物の心情を、当時の社会状況を踏まえながら読み解く。	関心・意欲・態度 読む力・聞く力 ワークシート	3

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	表現	3年間の振り返り	関心・意欲・態度 読む力・聞く力 ワークシート	4
2 月				12
3 月				4

大島海洋国際高等学校 令和5年度 科目名 数学ⅡB演習 年間授業計画

教科:(数学)科目:(数学ⅡB演習) 対象:(第 3 学年 AB 組) 2単位

教科担当者:(3A:大井)(3B:西山)

使用教科書:数学Ⅱ Standard(東京書籍) 数学B Standard(東京書籍)
使用教材:基礎からの数学Ⅱ+B Express (実教出版)

	指導内容 【年間授業計画】	科目数学ⅠAの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時間数
4月	複素数と方程式・式と証明	複素数と方程式・式と証明 二項定理・多項定理 分数式 複素数の計算	問題集	4
	複素数と方程式・式と証明	2次方程式と判別式 解と係数の関係 剰余の定理・因数定理 高次方程式 等式の証明	問題集	
5月	図形と方程式	2点間の距離・直線の方程式 2直線の位置関係・交点について 点と直線の距離 円の方程式と直線について	問題集	6
	図形と方程式	軌跡と領域 媒介変数・動点と軌跡	問題集	
	図形と方程式	問題演習	問題集	
		授業なし		
6月		授業なし		6
	1学期中間考査 (授業内実施)	授業内考査 全員30点以上	考査問題	
		授業なし		
	三角関数	弧度法・三角関数の性質とグラフ 加法定理・倍角の公式・合成 応用問題	問題集	
	三角関数	弧度法・三角関数の性質とグラフ 加法定理・倍角の公式・合成 応用問題	問題集	

7月	問題演習	問題演習・考査対策	教科書、問題集	2
	1学期期末考査	1学期期末考査 全員30点以上	問題集	
		授業なし		
9月	指数・対数関数	指数関数の計算・グラフ 指数関数の性質 対数関数のグラフ 指数と対数の混じった方程式・不等式	問題集	6
	微分・積分	微分係数・導関数について 増減表・グラフ 方程式への応用	問題集	
	微分・積分	微分係数・導関数について 増減表・グラフ 方程式への応用	問題集	
		授業なし		
10月	微分・積分	不定積分・定積分の計算 グラフと定積分の対応について 面積の問題	問題集	8
	応用問題	総合演習	問題集	
	応用問題	総合演習	問題集	
	数列	等差数列 等比数列 それらの和 色々な数列	問題集	
	2学期中間考査	2学期中間考査 全員30点以上		
11月 10				6
	数列	群数列・漸化式・数学的帰納法	問題集	
	ベクトル	ベクトルの加法と減法 ベクトルの成分表示 内積・単位ベクトル 外分・内分・重心のベクトル	問題集	
	ベクトル	空間への応用	問題集	

10 12 2月	応用問題	総合演習	問題集	4
	応用問題	総合演習	問題集	
	2学期期末考査	2学期期末考査 全員30点以上	考査問題	
1月	応用問題 単元融合問題	総合演習	問題集	4
	応用問題 単元融合問題	総合演習	問題集	
2月				
3月				

大島海洋国際高等学校 令和5年度 国語科 古典B 年間授業計画

教科：国語科 ：古典B 単位数： 2単位
対象学年組： 第3学年A組
教科担当者：（A組：須賀）
使用教科書：精選古典B 新版 （東京書籍）
使用教材 ：ステップアップノート30 古典文法トレーニング、完全マスター古典文法、古文単語315

	指導内容	古典Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	○助動詞確認	○第二学年時に学習した助動詞の知識を整理する。	関心・意欲・態度	2
5月	説話 「留志長者のこと」（宇治拾遺物語）	助動詞の知識を整理し、読解に活かす。 敬語の知識を確認し、読解に活かす。 古文単語の知識を増やす。	関心・意欲・態度 読む力 単語テスト ノート、プリント	4
6月	説話 「留志長者のこと」（宇治拾遺物語）	助動詞の知識を整理し、読解に活かす。 敬語の知識を確認し、読解に活かす。 古文単語の知識を増やす。	関心・意欲・態度 読む力 単語テスト ノート、プリント	8
7月	日記 「女郎花」（紫式部日記）	和歌の修辭法を整理し、読解を深める。 古典文法の知識を読解に活かす。 古文単語の知識を増やす。	関心・意欲・態度 読む力 単語テスト ノート、プリント	4

	指導内容	古典Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8月				
9月	史話 「赤壁之戦」(十八史略)	訓読の仕方を確認する。 句法の知識を身に付ける。 助字の知識を整理する。	関心・意欲・態度 読む力 ノート、プリント	6
10月	評論 「清少納言」(無名草子)	評論を読み、古人のものの見方をとらえる。 省略されている内容を類推する力をつける。 古文単語の知識を増やす。	関心・意欲・態度 読む力 単語テスト ノート、プリント	6
11月	物語 「須磨の秋」(源氏物語)	○用言と助動詞の理解を徹底する ○古文単語の知識を深める ○登場人物の行動や心情を的確にとらえる ○文中の和歌に込められた心情を読み取る ○敬語の知識を深める	関心・意欲・態度 読む力 単語テスト ノート、プリント	6
12月	物語 「須磨の秋」(源氏物語)	○用言と助動詞の理解を徹底する ○古文単語の知識を深める ○登場人物の行動や心情を的確にとらえる ○文中の和歌に込められた心情を読み取る ○敬語の知識を深める	関心・意欲・態度 読む力 単語テスト ノート、プリント	4

	指導内容	古典Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	詩 「李白と杜甫」	○漢詩の構成や表現技法の知識を整理する ○情景や心情を想像し、鑑賞文を記す	関心・意欲・態度 読む力 ノート、プリント	4
2 月				
3 月				

	指導内容 【年間授業計画】	比較文化の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点	予定時間数
4月	【WEB】【課題】 比較文化の基礎	ガイダンス・地域理解 地元大島の地域文化を通して比較文化を学ぶ	相互の文化を尊重する姿勢と、理解を深めようとする姿勢がみられるか	6
5月	【以降通常授業】 比較文化の基礎	・公民科的、地歴科的視点を通して比較文化の中からいくつかの分野を設定し、それらの調べ学習や発表・体験等を通して比較文化の特質を理解する。 (例)行ってみたい国・在日・移民・自分の嗜好など	相互の文化を尊重する姿勢と、理解を深めようとする姿勢がみられるか	6
6月	比較文化の基礎	・公民科的、地歴科的視点を通して比較文化の中からいくつかの分野を設定し、それらの調べ学習や発表・体験等を通して比較文化の特質を理解する。 (例)行ってみたい国・在日・移民・自分の嗜好など	相互の文化を尊重する姿勢と、理解を深めようとする姿勢がみられるか	8
7月	比較文化の基礎	・公民科的、地歴科的視点を通して比較文化の中からいくつかの分野を設定し、それらの調べ学習や発表・体験等を通して比較文化の特質を理解する。 (例)行ってみたい国・在日・移民・自分の嗜好など	相互の文化を尊重する姿勢と、理解を深めようとする姿勢がみられるか	6
9月	比較文化の基礎	・公民科的、地歴科的視点を通して比較文化の中からいくつかの分野を設定し、それらの調べ学習や発表・体験等を通して比較文化の特質を理解する。 (例)行ってみたい国・在日・移民・自分の嗜好など	相互の文化を尊重する姿勢と、理解を深めようとする姿勢がみられるか	2
10月	比較文化の基礎	・公民科的、地歴科的視点を通して比較文化の中からいくつかの分野を設定し、それらの調べ学習や発表・体験等を通して比較文化の特質を理解する。 (例)行ってみたい国・在日・移民・自分の嗜好など	相互の文化を尊重する姿勢と、理解を深めようとする姿勢がみられるか	8
11月	比較文化の基礎	・公民科的、地歴科的視点を通して比較文化の中からいくつかの分野を設定し、それらの調べ学習や発表・体験等を通して比較文化の特質を理解する。 (例)行ってみたい国・在日・移民・自分の嗜好など	相互の文化を尊重する姿勢と、理解を深めようとする姿勢がみられるか	8
12月	比較文化の基礎	・公民科的、地歴科的視点を通して比較文化の中からいくつかの分野を設定し、それらの調べ学習や発表・体験等を通して比較文化の特質を理解する。 (例)行ってみたい国・在日・移民・自分の嗜好など	相互の文化を尊重する姿勢と、理解を深めようとする姿勢がみられるか	6
1月	比較文化の基礎	・公民科的、地歴科的視点を通して比較文化の中からいくつかの分野を設定し、それらの調べ学習や発表・体験等を通して比較文化の特質を理解する。 (例)行ってみたい国・在日・移民・自分の嗜好など	相互の文化を尊重する姿勢と、理解を深めようとする姿勢がみられるか	4
2月				
3月				

大島海洋国際高等学校 令和5年度 科目名 数学ⅠA演習 年間授業計画

教科:(数学)科目:(数学ⅠA演習) 対象:(第 3 学年 AB 組) 2単位

教科担当者 : (3A : 久保) (3B : 久保)

使用教科書:数学Ⅰ Standard(東京書籍) 数学A Standard(東京書籍)

使用教材 :基礎からの数学Ⅰ+A Express (実教出版)

	指導内容 【年間授業計画】	科目数学ⅠAの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時間数
4月			授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	
	数と式 ・公式による展開 ・因数分解 ・絶対値記号 ・二重根号	数学Ⅰの基本的な展開、因数分解、無理数の計算、対象式などについて学習する		2
5月			授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	
	2次関数 2次関数のグラフ 移動 2次方程式・不等式	数学Ⅰの基本的な関数の扱い、グラフについて学習する		2
	2次関数 2次関数のグラフ 移動 2次方程式・不等式	数学Ⅰの基本的な関数の扱い、グラフについて学習する		2
	1学期中間考査	全員30点以上		1
6月	図形と計量 三角比 方程式・不等式 正弦定理・余弦定理	三角比の基本的な性質や正弦定理など図形に応用する定理を学習する。	授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	2
	図形と計量 三角比 方程式・不等式 正弦定理・余弦定理	三角比の基本的な性質や正弦定理など図形に応用する定理を学習する。		2
	集合と論証	・基本事項の確認、受験数学の知識の確認。 ・演習を通して解答力を身に付ける。 ・必要条件、十分条件を理解する。		2

7月			授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	
	1学期期末考査	全員30点以上		1
	データの分析	- 基本事項の確認、受験数学の知識の確認。 - 演習を通して解答力を身に付ける。 - 基本的な統計計算が一通りできる。		2
9月	データ分析	- 基本事項の確認、受験数学の知識の確認。 - 演習を通して解答力を身に付ける。 - 基本的な統計計算が一通りできる。	授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	2
	場合の数	- 基本事項の確認、受験数学の知識の確認。 - 演習を通して解答力を身に付ける。 - 各種の公式を使い分ける。 - 組の区別がつかない場合の解法を理解している。		2
	場合の数	- 基本事項の確認、受験数学の知識の確認。 - 演習を通して解答力を身に付ける。 - 各種の公式を使い分ける。 - 組の区別がつかない場合の解法を理解している。		2
10月	整数の性質	- 基本事項の確認、受験数学の知識の確認。 - 演習を通して解答力を身に付ける。 - 不定方程式の解。	授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	2
	図形の性質	- 基本事項の確認、受験数学の知識の確認。 - 演習を通して解答力を身に付ける。 - チェバ、メネラウスの定理の利用。		2
	図形の性質	- 基本事項の確認、受験数学の知識の確認。 - 演習を通して解答力を身に付ける。 - チェバ、メネラウスの定理の利用。		2
	2学期中間考査	全員30点以上		1

1 1 月			授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	
	数学ⅠA総合演習	ⅠAの総合演習を行う		2
	数学ⅠA総合演習	ⅠAの総合演習を行う		2
1 2 月				
	総合演習	センター試験を意識した形式でのテストになれる。特に、時間感覚を磨くことを重視する。	プリントの提出【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	2
	2学期期末考査	全員30点以上		1
1 月	総合演習	センター試験を意識した形式でのテストになれる。特に、時間感覚を磨くことを重視する。	授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	2

2月				
3月				

大島海洋国際高等学校 令和5年度 地理歴史 科目名日本史B 年間授業計画

教科:(地理歴史科) 科目:(日本史B) 対象:(第3学年A組) 単位数:2単位

教科担当者:(坂場俊太 (印))

使用教科書:詳説日本史 改訂版(山川出版)

使用教材 :最新日本史図表 第一学習社

	指導内容 【年間授業計画】	日本史Bの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時間数
4月	これまでの日本史の総復習 江戸時代の身分社会	・これまでに学んできた日本史を概略的に復習し、その流れや基礎知識に対する理解を深める。 ・江戸時代の身分社会について、各身分層の特徴と身分制度のしくみについて理解していく。	・提出課題 ・授業プリント ・授業態度 ・発問評価 ・考査	5
5月	江戸時代の村 江戸時代の町 【第一回考査】	・江戸時代の村のようすを、百姓を中心に見ていく。 ・江戸時代の町のようすについて、町人を中心に見ていく。	・授業プリント ・授業態度 ・発問評価 ・考査	6
6月	江戸時代の諸産業 元禄時代 江戸時代の諸産業の発展 江戸時代の交通の発達 金融と流通の発達	・江戸時代の諸産業のようすについて各分野ごとに注目して把握していく。 ・元禄時代を中心に、徳川四代將軍から七代將軍までの安定した治世のようすを見ていく。 ・江戸時代の安定した時代において、大きく発展した各産業のようすについて把握していく。 ・江戸時代の交通の発達について、江戸を中心に現代にも通じる点を挙げつつ、地図を用いながら理解していく。 ・江戸時代の金融や流通の発達について、貨幣鑄造や問屋の存在などを挙げながら理解していく。	・授業プリント ・授業態度 ・発問評価 ・考査	6

7月	【第二回考査】		・考査	2
8月	夏季休業			
9月	元禄文化 享保の改革 一揆と打ちこわし	・元禄文化について、当時の世相と結び付けながら、具体的な作品などを挙げつつ見ていく。 ・享保の改革について、その背景と具体的な内容、社会への影響などを見ていく。 ・当時頻繁に起こった自然災害と飢饉により、各地で起きた一揆や打ちこわしについて時系列ごとに見ていく。	・授業プリント ・授業態度 ・発問評価 ・考査	6
10月	田沼時代 宝暦・天明期の文化 寛政の改革 【第三回考査】	・田沼意次を中心とした当時の幕府の政策や改革について、先の改革後の社会から連続させて理解していく。 ・宝暦・天明期の文化について、当時の世相と結び付けながら、具体的な作品などを挙げつつ見ていく。 ・寛政の改革について、その背景と具体的な内容、社会への影響などを先の改革後の社会と連続して見ていく。	・授業プリント ・授業態度 ・発問評価 ・考査	8

1 1 月	幕府の対外政策の動 揺 天保の改革 化政文化 これからの日本：幕 末	・江戸時代後半に日本近海にあらわれて通商を求める諸外国に対し、江戸幕府が行ったさまざまな政策・対応と国内外の反応を見ていく。 ・天保の改革について、その背景と具体的な内容、社会への影響などを先の改革後の社会と連続して見ていく。 ・化政文化について、当時の世相と結び付けながら、具体的な作品などを挙げつつ見ていく。 ・幕末期の動乱と開国、江戸時代の終焉までの一連の流れをおさえていく。	・授業プリント ・授業態度 ・発問評価 ・考査	7
1 2 月	これからの日本：近 代～戦後 演習問題 【第四回考査】	・以降の日本の近代における展開を、教科書やプリントを用いつつ大まかに理解していく。 ・試験対策と総復習を兼ねて、これまでの授業内容について演習を重ねて知識の定着をはかる。	・授業プリント ・授業態度 ・発問評価 ・考査	6
1 月	総復習	・2年間の総復習をして、知識の定着をはかる。	・授業プリント ・授業態度 ・発問評価	3
2 月				
3 月				

	指導内容 【年間授業計画】	科目世界史Bの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時間数
4月				
	近世ヨーロッパ世界の形成	ルネサンスのもたらした芸術・思想・科学の変革内容を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
	近世ヨーロッパ世界の形成	ルネサンスのもたらした芸術・思想・科学の変革内容を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
5月	近世ヨーロッパ世界の形成	ドイツからはじまった宗教改革の理念とその拡大、カトリック教会の対応を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
	近世ヨーロッパ世界の形成	ドイツからはじまった宗教改革の理念とその拡大、カトリック教会の対応を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
	近世ヨーロッパ世界の形成	近代国家の原型となった主権国家体制の特色と、体制の形成にむかうヨーロッパ諸国の内乱や動向を理解する。	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
	近世ヨーロッパ世界の形成	近代国家の原型となった主権国家体制の特色と、体制の形成にむかうヨーロッパ諸国の内乱や動向を理解する。	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
6月	近世ヨーロッパ世界の展開	重商主義と啓蒙主義を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
	近世ヨーロッパ世界の展開	ヨーロッパ諸国の植民地争奪と大西洋世界の三角貿易を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
	近世ヨーロッパ世界の展開	ヨーロッパ諸国の植民地争奪と大西洋世界の三角貿易を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
	近世ヨーロッパ世界の展開	17～18世紀におけるヨーロッパ文化の特色とそれを生み出した社会状況を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
7月	ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	イギリス産業革命の背景と展開を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
	ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	イギリス産業革命の背景と展開を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
	ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	アメリカ独立革命の経過と、独立が市民社会に与えた影響を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2

8月				
9月	ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	アメリカ独立革命の経過と、独立が市民社会に与えた影響を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
	ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	アメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治に与えた影響を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
	ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	アメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治に与えた影響を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
	ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	アメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治に与えた影響を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
月	欧米における近代国家の発展	ウィーン体制の成立と、その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
	欧米における近代国家の発展	ウィーン体制の成立と、その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
	欧米における近代国家の発展	ウィーン体制の成立と、その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
	欧米における近代国家の発展	クリミア戦争以後の国際秩序の動揺と再編、イタリア・ドイツにおける国民国家の形成過程を理解する。	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
	欧米における近代国家の発展	クリミア戦争以後の国際秩序の動揺と再編、イタリア・ドイツにおける国民国家の形成過程を理解する。	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
月	欧米における近代国家の発展	ラテンアメリカの独立、アメリカ合衆国の領土拡大と南北戦争以後の発展を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
	欧米における近代国家の発展	ラテンアメリカの独立、アメリカ合衆国の領土拡大と南北戦争以後の発展を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
	欧米における近代国家の発展	19世紀の欧米文化の特徴と、その成立の背景を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
	アジア諸地域の動揺	西アジアにおけるオスマン帝国支配の動揺と改革を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2

月	アジア諸地域の動揺	インドの植民地化とその社会の変貌を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
	アジア諸地域の動揺	ヨーロッパ諸国の干渉による清朝の動揺と近代化改革、日本の開国と台頭による東アジア国際秩序の再編を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
	アジア諸地域の動揺	ヨーロッパ諸国の干渉による清朝の動揺と近代化改革、日本の開国と台頭による東アジア国際秩序の再編を理解する	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
1月	総復習	1年間の世界史のまとめをおこなう	定期考査 授業態度 ノート作成 発問評価	2
2月				
3月				

大島海洋国際高等学校 令和5年度 教科：保健体育，科目：体育 年間授業計画

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3単位
対象学年組：第3学年A組・B組
教科担当者：天野、中田
使用教科書：最新高等保健体育改訂版（大修館）
使用教材：各運動用具

	指導内容	科目：体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	ガイダンス	体育の目的・意義について理解させる。	観察	1
	体づくり運動（スポーツテスト）	スポーツテストを通じて自らの課題等を見つけ今後の体育、運動習慣にいかせるようにする。	観察、測定記録	3
	球技（バスケットボール）	ゴール型球技の特性を理解し、ドリブル、パス、シュートなどの技能を身につけ仲間と協力し、安全に留意してゲームでの攻防を楽しませる。	観察、実技テスト	2
	球技（テニス）	ネット型球技の特性を理解し、ラリーや攻防を楽しませる。また生涯スポーツとしての楽しみも理解させる。	観察、実技テスト	2
	球技（アルティメット）	ゴール型球技の特性を理解し、パス、キャッチなどの技能を身につけ仲間と協力し、安全に留意してゲームでの攻防を楽しませる。	観察、実技テスト	2
5月	球技（バスケットボール）	ゴール型球技の特性を理解し、ドリブル、パス、シュートなどの技能を身につけ仲間と協力し、安全に留意してゲームでの攻防を楽しませる。	観察、実技テスト	3
	球技（テニス）	ネット型球技の特性を理解し、ラリーや攻防を楽しませる。また生涯スポーツとしての楽しみも理解させる。	観察、実技テスト	3
	球技（アルティメット）	ゴール型球技の特性を理解し、パス、キャッチなどの技能を身につけ仲間と協力し、安全に留意してゲームでの攻防を楽しませる。	観察、実技テスト	6
6月	球技（バスケットボール）	ゴール型球技の特性を理解し、ドリブル、パス、シュートなどの技能を身につけ仲間と協力し、安全に留意してゲームでの攻防を楽しませる。	観察、実技テスト	2
	球技（テニス）	ネット型球技の特性を理解し、ラリーや攻防を楽しませる。また生涯スポーツとしての楽しみも理解させる。	観察、実技テスト	3
	球技（アルティメット）	ゴール型球技の特性を理解し、パス、キャッチなどの技能を身につけ仲間と協力し、安全に留意してゲームでの攻防を楽しませる。	観察、実技テスト	4
	水泳	水泳の技能を習得するとともに、生涯を通じて水に親しめる資質を身につけさせる。また、水の安全についての理解も十分に理解させる。	観察、測定タイム	2

	指導内容	科目：体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
7月	水泳	水泳の技能を習得するとともに、生涯を通じて水に親しめる資質を身につけさせる。また、水の安全についての理解も十分に理解させる。	観察、測定タイム	4
	球技（アルティメット）	ゴール型球技の特性を理解し、パス、キャッチなどの技能を身につけ仲間と協力し、安全に留意してゲームでの攻防を楽しませる。	観察、実技テスト	2
8月	水泳	水泳の技能を習得するとともに、生涯を通じて水に親しめる資質を身につけさせる。また、水の安全についての理解も十分に理解させる。	観察、測定タイム	1
	球技（アルティメット）	ゴール型球技の特性を理解し、パス、キャッチなどの技能を身につけ仲間と協力し、安全に留意してゲームでの攻防を楽しませる。	観察、実技テスト	1
9月	水泳	水泳の技能を習得するとともに、生涯を通じて水に親しめる資質を身につけさせる。また、水の安全についての理解も十分に理解させる。	観察、測定タイム	4
	体育理論	体力を高める方法を理解させる。	観察、レポート	1
10月	球技選択	リーダーを中心に、グループで、選択した球技の練習やゲームを行い、自主性や協調性を育む。	観察、レポート	12

	指導内容	科目：体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
11月	球技選択	リーダーを中心に、グループで、選択した球技の練習やゲームを行い、自主性や協調性を育む。	観察、レポート	12
12月	球技選択	リーダーを中心に、グループで、選択した球技の練習やゲームを行い、自主性や協調性を育む。	観察、レポート	5
	体育理論	体力を高める方法を理解させる。	観察、レポート	1
1月	球技選択	リーダーを中心に、グループで、選択した球技の練習やゲームを行い、自主性や協調性を育む。	観察、レポート	5
	体育理論	体力を高める方法を理解させる。	観察、レポート	1

		指導内容	科目：体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
2月					
3月					

東京都立大島海洋国際高等学校 令和5年度 教科：「英語」 科目：「英語理解」 年間授業計画

教科：英語 科目：英語理解 単位数：5単位
対象学年組：第3学年A組
教科担当者：（国際系：河澄 さつき 横戸 圭）
使用教科書：（New ONE WORLD Communication II （教育出版））
使用教材：（自主教材）

	指導内容	科目「英語理解」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	Another World under the Sea 動詞の語法（1）	・日頃目にすることの無い海中の不思議について知る。 ・海の自然を守る大切さや、自分にとっての海にまつわるテーマについて英語でまとめ、意見を交換したりする。 ・目的語として、動名詞・不定詞を後を取る動詞 ・使役動詞、知覚動詞等	ワークシート	13
5月	Reading Tasks 1-4 動詞の語法（2） Writing	・比較的短い文章からなる話題を読みながら、事実や考えを理解する。 ・それぞれの課題ごとに、適切な読み取りをする。 ・フレーズ・リーディング、トピック・センテンス、代名詞の中身を読み取る、時間的順序 ・第2文型をとる動詞、第3文型をとる動詞、自動詞と他動詞他 ・身近なテーマについて比較して書く	ワークシート 中間考査	14
6月	The Secret Annexe 動詞の語法（3）	・アンネの日記を通して弱者の苦しみを理解し、平和について考える。 ・ほぼ同年代のアンネが、この時代にどう生きていたのか、話し合ったり、意見交換をしたりする。 ・いろいろな動詞の語法	ワークシート	16
7月	Reading Tasks 5-8 Writing	・比較的短い文章からなる話題を読みながら、事実や考えを理解する。 ・それぞれの課題ごとに、適切な読み取りをする。 ・例示・追加・付加、比較・対照、原因・結果、語句の意味の推測 ・身近なテーマについて分析して書く	ワークシート 期末考査 授業内発表活動	3
9月	New Images of Babies 名詞の語法 Writing	・赤ちゃんにどのような能力があるのかを知り、内容を正しく理解する。 ・読んだり調べたりした情報を、聞き手にリズムやイントネーションに注意しながら適切に伝える。 ・不可算名詞の用法、慣用的に複数形を用いる表現等	ワークシート	12

	指導内容	科目「英語理解」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	Ancient Rome 代名詞の語法 Writing	- ローマ帝国の時代の人々は何をしていたのか読み，現代社会と比較して理解する。 - 感情を込めながら，聞き手が理解できるように，大きな声で音読することができる。 - one/itの用法、形式主語・目的語、所有代名詞の用法等	ワークシート 中間考査	17
11 月	Tuna 形容詞の語法 Writing	- グローバルな食材となったマグロを食糧資源として理解し，さらに養殖の難しさを理解する。 - 友だちと興味・関心のある事柄について話し合ったり，聞いた内容を発表したりする。 - 数・量を表す形容詞の用法、分詞形容詞等	ワークシート	18
12 月	Water Crisis 副詞の語法	- 地球規模の水不足を認識しながら，どう対処していくべきか理解する。 - 水の使い方をテーマにして，友だちと積極的にコミュニケーションを図る。 - 場所・時・条件を表す副詞の用法等	ワークシート 期末考査	10
1 月	Express yourself	- 既習事項を踏まえ、学習した内容や今後理解を広げていきたい内容につき調べ、発表する。 - 友だちの発表を聞き、自分のそれに組み込むことのできる点を考察する。	ワークシート	9

大島海洋国際高等学校 令和5年度 教科英語 科目総合英語HE 年間授業計画

教 科 : 英 語 科 目 : 総合英語 HE 単位数 : 2単位
対象学年組 : 3年A組 選択者
教科担当者 : (大橋 河澄 ㊟)
使用教科書 : (Fast Reading Advanced Stage(文英堂))
使用教材 : (Listening Box 2 (啓林館))

	指導内容	科目「総合英語HE」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
4 月	入試問題から抜粋された読解問題を速読に フォーカスしながら解いていく。	・英語で用いられている様々な表現やイディオム、言い回しを理解する。 ・一定量の英文から、その概要や背景をすばやく正しく読み取ることが出来る。 ・一定量の英文を聞き取ることが出来る。 ・様々な身の回りの話題について英語ではどのように表現されているかを学び、身近な出来事を英語で表現できるようになる。	ワークシート 課題提出	6
5 月	入試問題から抜粋された読解問題を速読に フォーカスしながら解いていく。	・英語で用いられている様々な表現やイディオム、言い回しを理解する。 ・一定量の英文から、その概要や背景をすばやく正しく読み取ることが出来る。 ・一定量の英文を聞き取ることが出来る。 ・様々な身の回りの話題について英語ではどのように表現されているかを学び、身近な出来事を英語で表現できるようになる。	ワークシート 課題提出	8
6 月	入試問題から抜粋された読解問題を速読に フォーカスしながら解いていく。	・英語で用いられている様々な表現やイディオム、言い回しを理解する。 ・一定量の英文から、その概要や背景をすばやく正しく読み取ることが出来る。 ・一定量の英文を聞き取ることが出来る。 ・様々な身の回りの話題について英語ではどのように表現されているかを学び、身近な出来事を英語で表現できるようになる。	ワークシート 課題提出	8

	指導内容	科目「総合英語HE」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
7 月	入試問題から抜粋された読解問題を速読に フォーカスしながら解いていく。	・英語で用いられている様々な表現やイディオム、言い回しを理解する。 ・一定量の英文から、その概要や背景をすばやく正しく読み取ることが出来る。 ・一定量の英文を聞き取ることが出来る。 ・様々な身の回りの話題について英語ではどのように表現されているかを学び、身近な出来事を英語で表現できるようになる。	ワークシート 課題提出	8
8 月				
9 月	入試問題から抜粋された読解問題を速読に フォーカスしながら解いていく。	・英語で用いられている様々な表現やイディオム、言い回しを理解する。 ・一定量の英文から、その概要や背景をすばやく正しく読み取ることが出来る。 ・一定量の英文を聞き取ることが出来る。 ・様々な身の回りの話題について英語ではどのように表現されているかを学び、身近な出来事を英語で表現できるようになる。	ワークシート 課題提出	8
1 0 月	入試問題から抜粋された読解問題を速読に フォーカスしながら解いていく。	・英語で用いられている様々な表現やイディオム、言い回しを理解する。 ・一定量の英文から、その概要や背景をすばやく正しく読み取ることが出来る。 ・一定量の英文を聞き取ることが出来る。 ・様々な身の回りの話題について英語ではどのように表現されているかを学び、身近な出来事を英語で表現できるようになる。	ワークシート 課題提出	8

	指導内容	科目「総合英語HE」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 1 月	入試問題から抜粋された読解問題を速読に フォーカスしながら解いていく。	・英語で用いられている様々な表現やイディオム、言い回しを理解する。 ・一定量の英文から、その概要や背景をすばやく正しく読み取ることが出来る。 ・一定量の英文を聞き取ることが出来る。 ・様々な身の回りの話題について英語ではどのように表現されているかを学び、身近な出来事を英語で表現できるようになる。	ワークシート 課題提出	8
1 2 月	入試問題から抜粋された読解問題を速読に フォーカスしながら解いていく。	・英語で用いられている様々な表現やイディオム、言い回しを理解する。 ・一定量の英文から、その概要や背景をすばやく正しく読み取ることが出来る。 ・一定量の英文を聞き取ることが出来る。 ・様々な身の回りの話題について英語ではどのように表現されているかを学び、身近な出来事を英語で表現できるようになる。	ワークシート 課題提出	8
1 月	入試問題から抜粋された読解問題を速読に フォーカスしながら解いていく。	・英語で用いられている様々な表現やイディオム、言い回しを理解する。 ・一定量の英文から、その概要や背景をすばやく正しく読み取ることが出来る。 ・一定量の英文を聞き取ることが出来る。 ・様々な身の回りの話題について英語ではどのように表現されているかを学び、身近な出来事を英語で表現できるようになる。	ワークシート 課題提出	8
2 月				

3月	指導内容	科目「総合英語HE」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

大島海洋国際高等学校 令和5年度 家庭基礎 (選択) 年間授業計画

教科： 家庭 科目：家庭基礎 (選択) 単位数： 2単位
 対象学年組： 第3学年 A組
 教科担当者： (A組：宮之原)
 使用教科書： 第一学習社 「新版 高等学校 家庭基礎 とともに生きる・持続可能な未来をつくる」
 使用教材： 第一学習社 「最新 生活ハンドブック 家庭 資料&成分表」

	指導内容	科目家庭基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月			・授業態度、授業プリント提出 (興味・関心) ・実習態度、課題レポート提出 (創意・工夫)	
	ガイダンス 家庭基礎 (選択科目) を学ぶにあたって	高校生として、家庭科を学ぶ目的を知らせ、選択科目の家庭科として、どのような視点で取り組むかを理解させる。 進路や最終学年の選択科目として、自主性をもって授業に取り組むことを知らせる。		2
	自分を見つめる	2022年4月から成年年齢が18歳に引き下げられたことにより、何がどのように変化するかを理解させる。		2
		ライフキャリアすごろくを行いながら、これからの生活設計やライフイベントなどについて考えさせる。		2
		現代の家族・家庭の課題を経済や制度などの社会環境の変化と関連付けて理解する。		
5月	ホームプロジェクトの作成および取り組み		・授業態度、授業プリント提出 (興味・関心) ・実習態度、課題レポート提出 (創意・工夫)	
		ホームプロジェクトの概要に沿って、実践させ、発表をシェアさせる。		2
				2
				2
6月	ライフスタイルとSDG's 環境と消費 <衣生活> 被服製作実習 1	自分で使う布小物を手縫い中心に被服製作を実習させる。	・授業態度、授業プリント提出 (興味・関心) ・実習態度、課題レポート提出 (創意・工夫) ・作品製作 (技能)	2
				2
				2
				2
				2

	指導内容	科目家庭基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	保育	乳幼児期は人間の発達段階において最も成長が著しい重要な時期であることや、子供の発達には、個人差があるが、一定の方向性や順序性があることを理解させる。	・授業態度、授業プリント提出（興味・関心） ・実習態度、課題レポート提出（創意・工夫）	2
		乳幼児期の親との関わりによる愛着の形成は、将来の人間形成の基礎となることを理解させる。 子供との目の高さで優しく、わかりやすい言葉で話しかけたり、話を聞いたりすることの大切さについて理解させる。		2
8月				
9月	保育	子供の貧困や虐待の問題などを取り上げ、現代の子供を取り巻く社会環境の課題について理解させる。	・授業態度、授業プリント提出（興味・関心） ・実習態度、レポート提出（創意・工夫）	2
		社会環境の変化による人間関係の希薄化、自然とふれ合う経験の不足、育児不安や孤立感、保育所不足と待機児童の問題などを取り上げ、子育て支援の必要性について理解させる。		2
		実践的・体験的な学習である乳幼児とのふれ合い体験を通じて、子供とのかかわりを身につけることができるようにする。		2
		ふれ合い体験の振り返りをし、子供との関わりについて理解を深めさせる。		
10月	環境と消費　＜食生活＞	食生活における、環境に配慮した消費行動に関心を持たせ、その重要性を知らせる。	・授業態度、授業プリント提出（興味・関心） ・実習態度、記録レポート提出（創意・工夫）	2
		栄養素のはたらきとその作用、食事とのかかわりについて、理解させる。		2
		食生活の視点から見れるグリーンコンシューマーの考え方を知らせ、その実践に向けて考えさせる。		2
		調理の基本や技法について理解させる。		2

	指導内容	科目家庭基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 1 月	調理実習 1 (技能テスト)	包丁を使った技能テスト(果物・野菜等)を実施させ、その食材を用いた実習をさせる。	・授業態度、授業プリント提出(興味・関心) ・実習態度、記録レポート提出(創意・工夫) ・調理実習(技能)	2
	献立作成	栄養を満たす食べ方を知らせるとともに、環境に配慮した食の実践献立を考えさせる。		2
		献立を作成させる。		2
		地域で採れた食材や旬なものを多く扱った献立を実習させる。		2
	調理実習 2 (地産地消献立)			
1 2 月	持続可能な社会に向けて	衣食住を通して、持続可能な社会とは何かを知らせ、生活の仕方を考えさせる。	・授業態度、授業プリント提出(興味・関心) ・課題レポート提出(創意・工夫)	2
	環境と消費 <住生活>	現在の居住空間や暮らしぶりを振り返らせ、無駄なこと、節約および環境に負荷をかける生活所作を考えさせる。		2
	一人暮らしのお部屋探し	卒業に向けて、一人暮らしの賃貸住宅探しの情報誌などでシュミレーションさせる。		2
1 月		お部屋探しのシュミレーションを課題レポートとして報告、まとめさせる。	・授業態度、授業プリント提出(興味・関心) ・課題レポート提出(創意・工夫)	2
2 月				

		指導内容	科目家庭基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月					

大島海洋国際高等学校 令和5年度 教科 国語 科目 現代文B演習 年間授業計画

教科：（国語）科目：（現代文B演習） 単位数：2単位
対象学年組： 第3学年A組
教科担当者：教科担当者：竹内
使用教科書:新編現代文B(教育出版)
使用教材:共通テスト現代文、LT実践長文読解、パーフェクト常用漢字

	指導内容	科目現代文B演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
4 月	演習	○下記の点に着目しながら、センター試験・私大の問題を解く。 ・登場人物の心情変化 ・状況設定の読み取り ・情景描写の効果	関心・意欲・態度 読む力・聞く力 ワークシート 現代文単語小テスト	4
5 月	演習	○下記の点に着目しながら、センター試験・私大の問題を解く。 ・登場人物の心情変化 ・状況設定の読み取り ・情景描写の効果	関心・意欲・態度 読む力・聞く力 ワークシート 現代文単語小テスト	7
6 月	演習	○下記の点に着目しながら、センター試験・私大の問題を解く。 ・登場人物の心情変化 ・状況設定の読み取り ・情景描写の効果	関心・意欲・態度 読む力・聞く力 ワークシート 現代文単語小テスト	8

	指導内容	科目現代文B演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	演習	○下記の点に着目しながら、センター試験・私大の問題を解く。 ・登場人物の心情変化 ・状況設定の読み取り ・情景描写の効果	関心・意欲・態度 読む力・聞く力 ワークシート 現代文単語小テスト	2
8月				
9月	センター・私大演習	○下記の点に着目しながら、センター試験・私大の問題を解く。 ・登場人物の心情変化 ・状況設定の読み取り ・情景描写の効果	関心・意欲・態度 読む力・聞く力 ワークシート 現代文単語小テスト	4
10月	センター・私大演習	○下記の点に着目しながら、センター試験・私大の問題を解く。 ・登場人物の心情変化 ・状況設定の読み取り ・情景描写の効果	関心・意欲・態度 読む力・聞く力 ワークシート 現代文単語小テスト	8

	指導内容	科目現代文B演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11月	センター・私大演習	○下記の点に着目しながら、センター試験・私大の問題を解く。 ・登場人物の心情変化 ・状況設定の読み取り ・情景描写の効果	関心・意欲・態度 読む力・聞く力 ワークシート 現代文単語小テスト	8
12月	センター・私大演習	○下記の点に着目しながら、センター試験・私大の問題を解く。 ・登場人物の心情変化 ・状況設定の読み取り ・情景描写の効果	関心・意欲・態度 読む力・聞く力 ワークシート 現代文単語小テスト	1
1月	センター・私大演習	○下記の点に着目しながら、センター試験・私大の問題を解く。 ・登場人物の心情変化 ・状況設定の読み取り ・情景描写の効果	関心・意欲・態度 読む力・聞く力 ワークシート 現代文単語小テスト	2
2月				12

		指導内容	科目現代文B演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月					4

大島海洋国際高等学校 令和5年度 科目名 数学Ⅲ 年間授業計画

教科:(数学)科目:(数学Ⅲ) 対象:(第 3 学年 A 組) 4単位

教科担当者:(西山)

使用教科書:数学ⅢStandard(東京書籍)

使用教材 :数学ⅢWRITE

	指導内容 【年間授業計画】	科目数学Ⅲの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点	予定時間数
4月			【関心・意欲・態度】 授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	
	1 章 平面上の曲線 1 節 2 次曲線	2 次曲線と直線についての基本的な問を正確に解かせる。		2
	・ 1 章 平面上の曲線 2 節 媒介変数表示と極座標	・ 媒介変数表示と極座標について数学的な見方が十分にできるようにさせる。		2
	2 章 複素数平面 1 節 複素数平面 2 節 図形への応用	・ 複素数平面の基本的な計算が素早くできるようにさせる。 ・ 複素平面上の図形へ十分に応用できるようにさせる。		4
		(授業なし)		
5月		(授業なし)	授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	
	・ 授業内考査	・ 2 章範囲の授業内考査で70点以上とらせる。		4
	・ 3 章 関数と極限 1 節 関数	分数関数・無理関数・逆関数について基本的な問題を正確に解かせる。		4
	・ 3 章 関数と極限 2 節 数列の極限	・ 数列の収束・発散について判断できるようにさせる。		4
		(授業なし)		
6月		(授業なし)	授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	
	・ 3 章 関数と極限 2 節 数列の極限	無限等比数列について十分に解けるようにさせる。		4
	・ 3 章 関数と極限 2 節 数列の極限	級数についての理解を深める。		4
	3 章 関数と極限 3 節 関数の極限	・ 関数の極限について基本問題が解ける ・ いろいろな関数の極限を求めさせる。		4
	3 章 関数と極限 3 節 関数の極限	・ 連続性について理解させる。		4

7月	3章 関数と極限 3節 関数の極限	・連続性について理解させる。	授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	4
		(授業なし)		
		(授業なし)		
		(授業なし)		
		(授業なし)		
9月	4章 微分法 1節 導関数	・微分係数について基本事項を理解させる。 ・合成関数、逆関数の微分法について十分に理解できるようにさせる。	授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	4
		・微分係数について基本事項を理解させる。 ・合成関数、逆関数の微分法について十分に理解できるようにさせる。		4
	4章 微分法 2節 いろいろな関数の導関数	三角関数、対数関数、指数関数の導関数を正確に求めるようにさせる。		4
		三角関数、対数関数、指数関数の導関数を正確に求めるようにさせる。		4
		三角関数、対数関数、指数関数の導関数を正確に求めるようにさせる。		4
10月	4章 微分法 2節 いろいろな関数の導関数	三角関数、対数関数、指数関数の導関数を正確に求めるようにさせる。	授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	4
	4章 微分法 4節 導関数の応用	極値、変曲点から増減表を書き、グラフとして正確に表現することができるようになる。		4
	4章 微分法 4節 導関数の応用	・関数の最大・最小を求めることができるようにさせる。		4
	4章 微分法 4節 導関数の応用	授業内考査で50点以上目標		4
	5章 積分法 1節 不定積分	・不定積分の基礎が解けるようにさせる ・置換積分法をいろいろな関数の積分に活用できるようにさせる		4

11月		(授業なし)	授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	
	5章 積分法 1節 不定積分	- 部分積分法を正し扱えるようにさせる。 - 三角関数の不定積分が解けるようにさせる。		4
	5章 積分法 2節 定積分	不定積分で習った内容から定積分の計算を素早くできるようにさせる。		4
	5章 積分法 2節 定積分	- 置換積分における変数の変換をしっかりと理解させる。 - 部分積分の計算を正確にさせる。 - 極限値を区分求積法を用いて意味を理解しながら表現できるようにさせる。		4
	5章 積分法 3節 積分法の応用	面積の計算が十分にできるようにさせる。		4
12月	5章 積分法 3節 積分法の応用	- 体積の計算が十分にできるようにさせる。 - 曲線の長さの計算が十分にできるようにさせる。 - 第4回考査で7割以上	授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	4
		(授業なし)		
	5章 積分法	1年間のまとめで振り返らせる		4
		(授業なし)		
1月		(授業なし)	授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	
		1年間の復習 - 発表の内容を視覚教材に仕上げさせる。		4
		自分の決めたテーマについて前向きに発表させる。		4
		(授業なし)		
		(授業なし)		

2月				
3月				

東京都立大島海洋国際高等学校 令和５年度 教科「英語」科目「英語理解E」 年間授業計画

教科： 英語 科目： 英語理解E 単位数： 2単位
対象学年組： 第3学年A組（選択）
教科担当者： 木原弘子 Daniel Nguyen
使用教科書：
使用教材： CNN Workbook Extended Course

	指導内容	科目「英語理解E」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	Stage 1 News 1	・辞書を使わずに本文を理解する。 ・単語を推測する力を養う。 ・CNNの英語を繰り返し聞き、各種の英語に対応できるようにする。英語で書かれた設問を読み、英語で自分の考えを論理的に書く。	・提出物 ・各News に対する設問の英文解答を評価する。	4
5月	Stage 1 News 2 Stage 1 News 3	・辞書を使わずに本文を理解する。 ・単語を推測する力を養う。 ・CNNの英語を繰り返し聞き、各種の英語に対応できるようにする。英語で書かれた設問を読み、英語で自分の考えを論理的に書く。	・各News に対する設問の英文解答を評価する。	6
6月	Stage 1 News 4 Stage 1 News 5	・辞書を使わずに本文を理解する。 ・単語を推測する力を養う。 ・CNNの英語を繰り返し聞き、各種の英語に対応できるようにする。英語で書かれた設問を読み、英語で自分の考えを論理的に書く。	・提出物 ・各News に対する設問の英文解答を評価する。	7
7月	Stage 1 News 6 Stage 1 News 7	・辞書を使わずに本文を理解する。 ・単語を推測する力を養う。 ・CNNの英語を繰り返し聞き、各種の英語に対応できるようにする。英語で書かれた設問を読み、英語で自分の考えを論理的に書く。	・提出物 ・各News に対する設問の英文解答を評価する。	3
8月				
9月	Stage 1 News 8 Stage 2 News 9	・辞書を使わずに本文を理解する。 ・単語を推測する力を養う。 ・CNNの英語を繰り返し聞き、各種の英語に対応できるようにする。英語で書かれた設問を読み、英語で自分の考えを論理的に書く。	・提出物 ・各News に対する設問の英文解答を評価する。	5

	指導内容	科目「英語理解E」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	Stage 2 News 1 0 Stage 2 News 1 1	・辞書を使わずに本文を理解する。 ・単語を推測する力を養う。 ・CNNの英語を繰り返し聞き、各種の英語に対応できるようにする。英語で書かれた設問を読み、英語で自分の考えを論理的に書く。	・提出物 ・各News に対する設問の英文解答を評価する。	6
11 月	Stage 2 News 1 2 Stage 2 News 1 3	・辞書を使わずに本文を理解する。 ・単語を推測する力を養う。 ・CNNの英語を繰り返し聞き、各種の英語に対応できるようにする。英語で書かれた設問を読み、英語で自分の考えを論理的に書く。	・提出物 ・各News に対する設問の英文解答を評価する。	8
12 月	Stage 2 News 1 4 Stage 2 News 1 5	・辞書を使わずに本文を理解する。 ・単語を推測する力を養う。 ・CNNの英語を繰り返し聞き、各種の英語に対応できるようにする。英語で書かれた設問を読み、英語で自分の考えを論理的に書く。	・提出物 ・各News に対する設問の英文解答を評価する。	4
1 月	Stage 2 News 1 6	・辞書を使わずに本文を理解する。 ・単語を推測する力を養う。 ・CNNの英語を繰り返し聞き、各種の英語に対応できるようにする。英語で書かれた設問を読み、英語で自分の考えを論理的に書く。	・提出物 ・各News に対する設問の英文解答を評価する。	3
2 月				0
3 月				0

大島海洋国際高等学校 令和5年度 教科水産科目海洋環境 年間授業計画

教科：水産 科目：海洋環境 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組選択)

教科担当者：(A組：清水 英範)

使用教科書：(海洋環境)

使用教材：()

指導内容		科目海洋環境の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	海洋環境管理の概要	海洋環境管理の概要について現状を踏まえて重要性を理解する	課題の提出、発問に対する回答【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	1
	海洋環境における海洋の役割	海洋の役割の気候との関わりについて理解する。		2
	海洋環境における海洋の役割	海洋の役割の物質循環について理解する。		1
5月	海洋環境における海洋の役割	海洋の役割と水の循環について理解する。	課題の提出、発問に対する回答【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	1
	海洋環境における海洋の役割	海洋大循環について理解する。		2
				2
6月	採水	海水の採水の意味や方法について理解する。	課題の提出、発問に対する回答【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	2
	水温・流況	海水の水温や流況について理解する。		2
	透明度・水色・深浅測量	海水の透明度・水色・深浅測量について定義や方法について理解する。		1
	波浪・潮汐	波浪・潮汐の定義や観測方法について理解する。		2
	底質	底質の表記の仕方や調査について理解する。		1

	指導内容	科目海洋環境の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	生物の調査	海洋生物の分類やと調査方法について理解する。	課題の提出、発問に対する回答【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	1
				1
8月				
9月	気温	気温の測定法について理解する。	課題の提出、発問に対する回答【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	1
	気圧・風・降水	気圧・風・降水の観測法について理解する。		2
	雲・気象観測体制	雲の種類や観測法、気象観測体制について理解する。		1
				1
10月	水質分析の基礎	水質分析の基礎について理解する。	課題の提出、発問に対する回答【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	
	塩分・pH	塩分・pHについて意味と観測法について理解する。		2
	DO, COD, BOD	DO,COD,BODの意味について理解する。		2
	栄養塩	栄養塩の種類と観測法について理解する。		2

	指導内容	科目海洋環境の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	海と陸の分布	海洋と陸の分布について特徴を理解する。	課題の提出、発問に対する 回答【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	2
	海底地形・地震	海底の地形とプレートが引き起こす現象について理解する。		2
	水温・塩分・密度	水温・塩分・密度について海域や水深による違いの特徴を理解する。		2
	水圧・浮力・音・光	水圧・浮力・音・光について海域や水深による違いの特徴を理解する。		2
				1
12 月	D0、pH、栄養塩	D0、pH、栄養塩について海域や水深による違いの特徴を理解する。	課題の提出、発問に対する 回答【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	1
	食物連鎖、分布	海洋の食物連鎖、生物の分布について理解する。		2
1 月	生物の季節変動	生物の季節変動について各地域ごとの特徴を理解する。	課題の提出、発問に対する 回答【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	2
	沿岸の地形	沿岸の地形について特徴や問題について理解する。		2
2 月	大気大循環	大気大循環の仕組みと地域による特徴を理解する。		
	海流	海流の特徴を理解する。		
	熱塩循環	海水の循環について理解する。		

指導内容		科目海洋環境の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	日本の海流	日本の代表的な海流とその影響について理解する。		

大島海洋国際高等学校 令和5年度 教科 国語 科目 国語表現 年間授業計画

教科：（国語）科目：（国語表現） 単位数：2単位
対象学年組： 第3学年A組、B組
教科担当者：竹内 田鹿
使用教科書:国語表現 改訂版（大修館書店）
使用教材:ステップアップ小論文

	指導内容	科目国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	文章表現の基本 小論文①	○正しい文章表現の仕方を身に着ける。 ○書き言葉としての適切な表現や、読みやすい文章構成について知識を深め、自ら意識して書けるようになる。	授業態度 提出物 発問	2
5月	小論文を書く①	○課題文で述べられた内容を正確に把握し、要約する力を身につけさせる。 ○課題文をふまえながら、それに対する自分の主張を論理的に述べる力を身につける。	授業態度 提出物 発問	6
6月	小論文を書く②	○資料にまとめられた諸々の数値を正確に読み取る力を身につける。 ○資料から明らかになった事実に対する自己の主張を論理的に述べる力を身につける。	授業態度 提出物 発問	6
7月	小論文を書く③	○漠然と設定されたテーマに対して、自身でテーマを具体的に絞り、論じる力を身につける。 ○社会的な事実や、それに対する知識をふまえて自己の主張を論理的に述べる力を身につけさせる。	授業態度 提出物 発問	2

	指導内容	科目国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8月				
9月	小論文を書く③	○漠然と設定されたテーマに対して、自身でテーマを具体的に絞り、論じる力を身につける。 ○社会的な事実や、それに対する知識をふまえて自己の主張を論理的に述べる力を身につけさせる。 ○自身の進路に合わせた小論文を書くことができる	授業態度 提出物 発問	4
10月	小論文を書く④ 討論①	○漠然と設定されたテーマに対して、自身でテーマを具体的に絞り、論じる力を身につける。 ○社会的な事実や、それに対する知識をふまえて自己の主張を論理的に述べる力を身につけさせる。 ○自身の進路に合わせた小論文を書くことができる ○ディベートを通して、話す順序や、他者の意見との相違点を整理しながら自己の主張を述べる力を身につけさせる。 ○他者との意見のやりとりを通して、考えや問題の解決法を探る力を身につけさせる。	授業態度 提出物 発問	6
11月	討論②	○ディベートを通して、話す順序や、他者の意見との相違点を整理しながら自己の主張を述べる力を身につけさせる。 ○他者との意見のやりとりを通して、考えや問題の解決法を探る力を身につけさせる。	授業態度 提出物 発問	6
12月	手紙を書く①	○前文、主文、末文、後付といった手紙を書く際の様式、形式について理解させ、手紙を書く力を身につけさせる。	授業態度 提出物 発問	2

	指導内容	科目国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	手紙を書く②	○前文、主文、末文、後付といった手紙を書く際の様式、形式について理解させ、手紙を書く力を身につけさせる。	授業態度 提出物 発問	4
2 月				
3 月				

大島海洋国際高等学校 令和5年度 教科 国語 科目 古典B演習 年間授業計画

教科：（国語）科目：（古典B演習） 単位数：2単位
対象学年組： 第3学年A組
教科担当者：須賀
使用教科書：精選古典B 新版（東京書籍）
使用教材：体系古典文法、体系古典文法学習ノート、古文の徹底問題、センター試験演習古典、読んで見て覚える古文単語315

	指導内容	科目古典B演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月				
	十訓抄 「大江山の歌」	入試古典に必要な読解力を養成する。	関心・意欲・態度 読む力 単語テスト ノート、プリント	2
	十訓抄 「大江山の歌」	入試古典に必要な読解力を養成する。	関心・意欲・態度 読む力 単語テスト ノート、プリント	2
	十訓抄 「大江山の歌」	入試古典に必要な読解力を養成する。	関心・意欲・態度 読む力 単語テスト ノート、プリント	2
5月				
	徒然草 「丹波に出雲といふ所あり」	助動詞の知識を体系的に整理し、活用する。	関心・意欲・態度 読む力	2
	徒然草 「丹波に出雲といふ所あり」	助動詞の知識を体系的に整理し、活用する。	関心・意欲・態度 読む力	2
	徒然草 「丹波に出雲といふ所あり」	助詞の知識を体系的に整理し、活用する。	関心・意欲・態度 読む力	1
	徒然草 「丹波に出雲といふ所あり」	助詞の知識を体系的に整理し、活用する。	関心・意欲・態度 読む力	2
6月				
	古典文法 敬語	敬語の知識を体系的に整理し、活用する。	関心・意欲・態度 読む力	2
	古典文法 敬語	敬語の知識を体系的に整理し、活用する。	関心・意欲・態度 読む力	2
	古典文法 敬語	敬語の知識を体系的に整理し、活用する。	関心・意欲・態度 読む力	2
	古典文法 敬語	敬語の知識を体系的に整理し、活用する。	関心・意欲・態度 読む力	2
7月	古典文法 副詞	副詞の知識を体系的に整理し、活用する。	関心・意欲・態度 読む力	2

	指導内容	科目古典B演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8月				
9月	センター試験演習	センター試験形式の問題演習を通して、入試古典の実戦力を身に付ける。	関心・意欲・態度 読む力、書く力	2
	センター試験演習	センター試験形式の問題演習を通して、入試古典の実戦力を身に付ける。	関心・意欲・態度 読む力、書く力	2
10月	センター試験演習	センター試験形式の問題演習を通して、入試古典の実戦力を身に付ける。	関心・意欲・態度 読む力	2
	センター試験演習	センター試験形式の問題演習を通して、入試古典の実戦力を身に付ける。	関心・意欲・態度 読む力	2
	センター試験演習	センター試験形式の問題演習を通して、入試古典の実戦力を身に付ける。	関心・意欲・態度 読む力	2
	センター試験演習	センター試験形式の問題演習を通して、入試古典の実戦力を身に付ける。	関心・意欲・態度 読む力	2
11月				
	古文の徹底問題 「蜻蛉日記」	入試古典に必要な読解力を養成する。	関心・意欲・態度 読む力	2
	古文の徹底問題 「源氏物語」	入試古典に必要な読解力を養成する。	関心・意欲・態度 読む力	2
	古文の徹底問題 「紫式部日記」	入試古典に必要な読解力を養成する。	関心・意欲・態度 読む力	2
	古文の徹底問題 「大鏡」	入試古典に必要な読解力を養成する。	関心・意欲・態度 読む力	2
12月				
	古文の徹底問題 「無名草子」	入試古典に必要な読解力を養成する。	関心・意欲・態度 読む力	2

	指導内容	科目古典B演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	古文の徹底問題 「宇治拾遺物語」	入試古典に必要な読解力を養成する。	関心・意欲・態度 読む力	2
2 月				
3 月				

大島海洋国際高等学校 令和5年度 教科 芸術 科目音楽Ⅱ 年間授業計画

教科 科 芸術 科 目：音楽Ⅱ 単位数： 2単位
対象学年組： 第3学年A組B組選択者
教科担当者：(A組：白鳥) (B組：白鳥)
使用教科書：(高校生の音楽2)

	指導内容	科目音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月				
	オリエンテーション	・音楽Ⅱについてのオリエンテーションを行う。主に学習内容と成績・評価の仕方について説明する。	授業態度、意欲	1
5月				
	鑑賞	・歌曲における発声の特徴と、表現上の効果とのかかわりを理解し、楽曲の文化的・歴史的背景について理解を深めている	教科書、ワークシート 映像、聴取資料	1
	創作(楽典)	・楽曲の強弱やリズム、速度を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気などを感じ取ることができる	ワークシート	2
6月	創作(楽典)	・楽曲の強弱やリズム、速度を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気などを感じ取ることができる	教科書、ワークシート	1
	鑑賞(民俗芸能)	日本の伝統的な民謡や芸能に親しみを持つ 他国の文化と比較し、理解する	教科書、ワークシート	2
	鑑賞(民俗芸能)	日本の伝統的な民謡や芸能に親しみを持つ 他国の文化と比較し、理解する	教科書、ワークシート	1
	器楽表現(ギター)	・ギターの基礎的な演奏が出来る ・ギターの音色や奏法と表現上の効果とのかかわりを理解し、それらを生かして演奏できる	教科書、ワークシート	2
7月	器楽表現(ギター)	・ギターの基礎的な演奏が出来る ・ギターの音色や奏法と表現上の効果とのかかわりを理解し、それらを生かして演奏できる	教科書、ワークシート ギター	2
	器楽表現(ボディーパーカッション)	・ボディーパーカッションの基礎的な演奏が出来る ・ボディーパーカッションによる様々な奏法と表現上の効果とのかかわりを理解し、それらを生かして演奏できる	教科書、ワークシート	2

	指導内容	科目音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8月				
9月				
	鑑賞(音楽史)	・ポピュラー音楽に関して表面上を理解する ・ポップスで使用する楽器について考える	教科書、ワークシート	2
	鑑賞(音楽史)	・ポピュラー音楽に関して表面上を理解する ・ポップスで使用する楽器について考える	教科書、ワークシート	2
10月				
	器楽表現(ボイスアンサンブル)	・ボイスアンサンブルの奏法と表現上の効果とのかかわりを理解し、それらを生かして演奏できる	教科書、ワークシート	2
	器楽表現(ギター)	・ギターの基礎的な演奏が出来る ・ギターの音色や奏法と表現上の効果とのかかわりを理解し、それらを生かして演奏できる	教科書、ワークシート ギター	3
	器楽表現(ギター)	・ギターの基礎的な演奏が出来る ・ギターの音色や奏法と表現上の効果とのかかわりを理解し、それらを生かして演奏できる	教科書、ワークシート ギター	3
11月				
	創作表現	・言葉のリズムや抑揚を生かし、音楽を形づくっている要素の働きや構成を工夫しながら創作をしている	教科書、ワークシート	2
	創作表現	・言葉のリズムや抑揚を生かし、音楽を形づくっている要素の働きや構成を工夫しながら創作をしている	教科書、ワークシート	2
12月	器楽表現(合奏)	・基礎的な器楽表現ができる ・リズムを感じ、周囲の音との交わりを知る ・楽曲の文化的、歴史的背景について理解を深めている	教科書、ワークシート	2
	器楽表現(合奏)	・基礎的な器楽表現ができる ・リズムを感じ、周囲の音との交わりを知る ・楽曲の文化的、歴史的背景について理解を深めている	教科書、ワークシート	2

1 月	指導内容	科目音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	器楽表現(合奏)	・基礎的な器楽表現ができる ・リズムを感じ、周囲の音との交わりを知る ・楽曲の文化的、歴史的背景について理解を深めている	教科書、ワークシート	2

大島海洋国際高等学校 令和5年度 科目名 世界史B 演習 年間授業計画

教科:(地歴)科目:(世界史B 演習) 対象:(第 3学年 A組) 単位数:4単位

教科担当者:(A組:池田 明容^⑨)

使用教科書:改訂版 詳説 世界史B(山川出版社)
使用教材:グローバルワイド最新世界史図表

	指導内容 【年間授業計画】	科目世界史Bの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時間数
4月				
	帝国主義とアジアの民族運動	帝国主義の特質と、帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する	定期考査 授業態度 発問評価	2
	帝国主義とアジアの民族運動	帝国主義の特質と、帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
	帝国主義とアジアの民族運動	帝国主義の特質と、帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
5月	帝国主義とアジアの民族運動	帝国主義時代の欧米列強による世界各地の分割や植民地化をめぐる競争と、従属させられた諸地域社会の抵抗と変容を理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
	帝国主義とアジアの民族運動	欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の形成を理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
	帝国主義とアジアの民族運動	欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の形成を理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
	二つの世界大戦	第1次世界大戦とロシア革命が国際秩序に大きな変化をもたらし、20世紀の変動の基点となったことを理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
6月	二つの世界大戦	第1次世界大戦とロシア革命が国際秩序に大きな変化をもたらし、20世紀の変動の基点となったことを理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
	二つの世界大戦	国際協調を基調としたヴェルサイユ体制下の欧米諸国の動向を理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
	二つの世界大戦	国際協調を基調としたヴェルサイユ体制下の欧米諸国の動向を理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
	二つの世界大戦	中国や東南アジア諸国・インド・トルコや西アジア諸国・アフリカの民族運動の展開を理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4

7月	二つの世界大戦	中国や東南アジア諸国・インド・トルコや西アジア諸国・アフリカの民族運動の展開を理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
	二つの世界大戦	世界恐慌以降の欧米諸国の動向や東アジアの状況から、国際的緊張が高まる時代を理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
	二つの世界大戦	世界恐慌以降の欧米諸国の動向や東アジアの状況から、国際的緊張が高まる時代を理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
8月				
9月	二つの世界大戦	第二次大戦にいたる過程と戦争規模の拡大、米ソの国際的地位の高まりを理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
	二つの世界大戦	第二次大戦にいたる過程と戦争規模の拡大、米ソの国際的地位の高まりを理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
	冷戦と第三世界の独立	第二次世界大戦後、米ソを中心とした冷戦体制が成立し、東西両陣営に世界が分裂した	定期考査 授業態度 発問評価	4
	冷戦と第三世界の独立	第二次世界大戦後、米ソを中心とした冷戦体制が成立し、東西両陣営に世界が分裂した	定期考査 授業態度 発問評価	4
10月	冷戦と第三世界の独立	朝鮮戦争などによる米ソ冷戦の激化から、日本・西欧の経済復興や「雪解け」のはじまりによって、国際政治や経済が多極化に向かったことを理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
	冷戦と第三世界の独立	朝鮮戦争などによる米ソ冷戦の激化から、日本・西欧の経済復興や「雪解け」のはじまりによって、国際政治や経済が多極化に向かったことを理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
	冷戦と第三世界の独立	アジア・アフリカ諸国が第三勢力として躍進し、発言力を強めたことを理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
	冷戦と第三世界の独立	アジア・アフリカ諸国が第三勢力として躍進し、発言力を強めたことを理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
	冷戦と第三世界の独立	ドルショック・オイルショック以降の国際経済の再編・冷戦の終結への流れを理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4

11月	現代の世界	東欧社会主義圏の消滅とソ連の解体、1990年代の情報技術革命とグローバル経済の進展を理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
	現代の世界	東欧社会主義圏の消滅とソ連の解体、1990年代の情報技術革命とグローバル経済の進展を理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
	現代の世界	発展途上国の民主化の進展と、アジア社会主義国家の変容を理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
	現代の世界	発展途上国の民主化の進展と、アジア社会主義国家の変容を理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
12月	現代の世界	世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争、紛争解決や軍縮の試みを理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
	現代の世界	世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争、紛争解決や軍縮の試みを理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
	現代の世界	科学技術の発達と現代文明の抱える危機、現代思想や文化の特徴について理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
1月	現代の世界	科学技術の発達と現代文明の抱える危機、現代思想や文化の特徴について理解する	定期考査 授業態度 発問評価	4
2月				

3月				

大島海洋国際高等学校 令和5年度 科目名日本史B 年間授業計画

教科:(地理歴史科)科目:(日本史B演習) 対象:(第3学年A組) 4単位

教科担当者:(A組:坂場俊太 (印))

使用教科書:詳説日本史 改訂版 (山川出版社)

使用教材 :詳説日本史 (第一学習社)

	指導内容 【年間授業計画】	科目日本史B演習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時間数
4月	幕末までの日本の復習と国際社会のようす 19世紀ごろの東アジアと欧米列強の動き	- 幕末期までの日本がどのようなようになっていたかを復習しつつ、当時の国際社会がどのように展開していったのかを理解していく。 19世紀までの中国王朝を中心とした東アジアの国際秩序のようすと、それに介入しようと試みる欧米列強の経緯や目的などを理解し、その後の展開を各国ごとの目線や交易にもふれつつ確認していく。	- 提出課題 - 授業プリント - 授業態度 - 発問評価 - 考査	12
5月	開国とその影響 幕末期の動乱 明治維新 明治政府の富国強兵政策 【第一回考査】	- 鎖国状態にあった当時の江戸幕府がどのような経緯で諸外国の動きに対応したか、開国に至るまでの経緯に沿いつつ理解していく。 - 開国後の日本において、その影響について貿易や施策などにふれつつ、前後の比較を行いながら理解を深める。 - 幕末期の日本において、江戸幕府内の対立や薩長を中心とする雄藩の動き、朝廷の躍進など、三者の視点でそれぞれの動きについて、相互の関係にもふれつつ見ていく。 - 明治新政府の成立と組織の発展について、施策や法令、当時の世相にもふれつつ理解していく。 - 旧幕府軍と新政府軍の内戦のようすを各地の戦いにふれながら見ていく。 - 明治期の日本社会の発展や刷新について、文芸や思想にもふれながら把握していく。 - 明治政府が行った富国強兵のためのさまざまな政策を、個別に注目しながら理解していく。	- 授業プリント - 授業態度 - 発問評価 - 考査	9
6月	立憲国家の成立と日清戦争 日露戦争と国際関係 近代産業の発展と文芸の発達 第一次世界大戦と日本 ワシントン体制	- 近代日本が立憲国家に至るまでの経緯を把握していく。 - 日清戦争と日露戦争について、朝鮮半島をめぐる諸国との関わり合いにふれながら前後のようすを見ていく。 - 明治期の外交について、幕末期に締結した条約の改正問題にふれつつ流れを見ていく。 - 近代日本の産業の発展のようすを見ていく。 - 近代日本の文芸のようすを、当時の世相と結び付けながら見ていく。 - 第一次世界大戦の経緯と戦後処理について、日本がどのように動いていたかに注目しつつ理解していく。 - ワシントン体制について、その中身と日本国内外の動きについて把握していく。	- 授業プリント - 授業態度 - 発問評価 - 考査	16

7月	大衆文化 恐慌の時代 【第二回考査】	・大正期の思想の発展や文芸の展開について、当時の世相と結び付けながら見ていく。 ・国内外で立て続けに発生した恐慌の推移と諸国の対応について、「公民」の内容にもふれながら理解していく。	・授業プリント ・授業態度 ・発問評価 ・考査	5
8月	夏季休業			
9月	軍部の台頭 第二次世界大戦 占領と改革 冷戦と講和	・日本国内における軍部の台頭について、一連の経緯を具体的な事件にふれつつ理解していく。 ・第二次世界大戦の勃発と、その裏で行われた日中戦争・太平洋戦争の流れを、世界各国の動向に注目しつつ理解していく。 ・戦後日本における連合国軍の占領政策と諸改革について、具体的な内容を戦前の日本と比較しながら理解していく。 ・東西冷戦の経緯と、その影響による日本の諸国との講和について、各国の動静にふれながら理解していく。	・授業プリント ・授業態度 ・発問評価 ・考査	12
10月	55年体制 復興から高度成長へ 経済大国への道 冷戦の終結と日本社会の変容 これからの日本と課題 【第三回考査】	・55年体制の展開について、自由民主党と日本社会党を中心とした動きと各内閣の政策にふれながら理解していく。 ・高度経済成長にいたるまでの日本経済のようすを、戦後復興から諸産業や当時の世相に注目しつつ把握していく。 ・日本が世界有数の経済大国になるまでの流れを、オリンピックや諸政策にもふれながら把握していく。 ・冷戦終結までの各国の動きや政策、国際事情について具体的な事件とともに理解していく。 ・世界の動きとともに変化する日本のようすを、政治や経済だけでなく生活や文化にもふれながら確認していく。 ・これまでの歴史を学んだ者として、現代社会を生きる者として現代社会の課題を考え、自分なりの意見を持つていく。	・授業プリント ・授業態度 ・発問評価 ・考査	13

11月	演習	・試験対策、これまでの総復習を兼ねて、問題集やプリントなどを用い演習を行うことで知識の定着をはかる。	1 ・授業プリント ・授業態度 ・発問評価	18
12月	演習	・試験対策、これまでの総復習を兼ねて、問題集やプリントなどを用い演習を行うことで知識の定着をはかる。	・授業プリント ・授業態度 ・発問評価	10
1月	演習	・試験対策、これまでの総復習を兼ねて、問題集やプリントなどを用い演習を行うことで知識の定着をはかる。	・授業プリント ・授業態度 ・発問評価	8
2月				

3 月				
--------	--	--	--	--

大島海洋国際高等学校 令和5年度 教科公民科目政治経済 年間授業計画

教科：公民 科目：政治経済 単位数：4単位
対象学年組：第3学年A組
教科担当者：佐藤 岳咨 ㊞（A組：佐藤㊞）
使用教科書：（政治・経済 東京書籍）
使用教材：（最新図説政経）

	指導内容	科目政治経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	ガイダンス 第1章 現代の政治 5節 現代の国際政治 ①国際政治の特質 ②国際社会と国際法 ③国際連合の役割と課題	ガイダンス 1年間の学習内容や授業の目的や進め方等を説明 第1章 現代の政治 5節 現代の国際政治 ①国際政治の特質 国際社会の成立過程と特徴について理解し、今日の新たな動向について考察する。 ②国際社会と国際法 国際秩序の確立を企図して生まれた国際法の歴史とその特質を明らかにし、その役割を認識させる。 ③国際連合の役割と課題 国際連盟の限界と国際連合の目的について理解させる。その際、冷戦後の国連の課題や日本の国連とのかかわりについても考えさせる。	【思考・判断・表現力】 ・発問状況 ・課題内容 【関心・意欲・態度】 ・授業態度 ・課題提出状況	12
5月	第1章 現代の政治 5節 現代の国際政治 ④戦後国際関係の展開と日本 ⑤国際政治の課題 ⑥地球環境問題と資源・エネルギー問題 ⑦国際社会における日本の役割 第1回考査(授業内考査)	第1章 現代の政治 5節 現代の国際政治 ④戦後国際関係の展開と日本 第二次世界大戦後の国際政治の動向について、冷戦期および冷戦後の両方の時期で理解させ、現代の国際政治の動向についても考えさせる。 ⑤国際政治の課題 核軍拡競争と、反核運動の流れを理解させ、地域紛争や難民問題、テロリズムの拡散など冷戦後の国際政治の課題について考察させる。 ⑥地球環境問題と資源・エネルギー問題 グローバル化の進展にともなう今日の地球環境問題や資源・エネルギー問題について理解させ、持続可能な社会を形成するためにどのような課題があるかを考えさせる。 ⑦国際社会における日本の役割 戦後日本外交の歩みを理解させ、日本外交の課題と平和憲法をもつ日本の果たすべき役割について考えさせる。 第1回考査	【思考・判断・表現力】 ・発問状況 ・課題内容 【関心・意欲・態度】 ・授業態度 ・課題提出状況 【知識・理解】 第1回考査	8 考査 1
6月	第2章 現代の経済 1節 現代の資本主義経済 ①資本主義体制の成立 ②資本主義経済の発展と変容 2節 現代経済のしくみ ①経済主体と経済の循環 ②生産のしくみと企業 ③市場経済の機能と限界	第2章 現代の経済 1節 現代の資本主義経済 ①資本主義体制の成立 経済活動について理解させ、資本主義経済の成立過程や特徴を考察させる。 ②資本主義経済の発展と変容 資本主義の変容について社会主義との関係を踏まえながら理解させる。 2節 現代経済のしくみ ①経済主体と経済の循環 三つの経済主体と経済活動の流れを理解させる。 ②生産のしくみと企業 企業の役割や活動、株式会社の特色について理解させ、企業の社会的責任について考察させる。 ③市場経済の機能と限界 市場における需要と供給のしくみについて理解させ、市場経済の問題点や競争を阻害する要因について考えさせる。	【思考・判断・表現力】 ・発問状況 ・課題内容 【関心・意欲・態度】 ・授業態度 ・課題提出状況	16
7月	第2回考査 第2章 現代の経済 2節 現代経済のしくみ ④国民所得と経済成長 ⑤金融のしくみと機能 ⑥財政のしくみと機能	第2回考査 第2章 現代の経済 2節 現代経済のしくみ ④国民所得と経済成長 経済活動を把握するための指標について理解させるとともに、景気動向や物価についても考察させる。 ⑤金融のしくみと機能 通貨と金融の役割および中央銀行の金融政策について理解させる。 ⑥財政のしくみと機能 財政の役割および財政政策について理解させ、現在の日本の財政赤字などの問題や税負担の問題について考えさせる。	【思考・判断・表現力】 ・発問状況 ・課題内容 【関心・意欲・態度】 ・授業態度 ・課題提出状況 【知識・理解】 第2回考査	4 考査 1

8月				
9月	第2章 現代の経済 3節 日本経済の発展と産業構造の変化 ①経済再建から高度成長へ ②オイル・ショック後の日本経済 ③日本経済の現状 4節 社会福祉と日本経済の課題 ①公害と環境保全 ②消費者問題	第2章 現代の経済 3節 日本経済の発展と産業構造の変化 ①経済再建から高度成長へ 戦後経済復興の背景と高度経済成長の要因について理解させる。 ②オイル・ショック後の日本経済 高度経済成長が終焉したのちの産業構造の高度化や日米経済摩擦について理解させ、バブル経済の発生と破綻した理由について考えさせる。 ③日本経済の現状 バブル経済破綻後の経済状況や「構造改革」などの経済政策について考えさせ、東日本大震災後における日本経済が抱える課題について考察させる。 4節 社会福祉と日本経済の課題 ①公害と環境保全 公害の原因と政府の公害対策について理解させ、環境問題や循環型社会形成に向けての課題について考えさせる。 ②消費者問題 消費者保護や自立のための法律や制度、消費者問題の課題を理解させ、契約についても考えさせる。	【思考・判断・表現力】 ・発問状況 ・課題内容 【関心・意欲・態度】 ・授業態度 ・課題提出状況	12
10月	第2章 現代の経済 4節 社会福祉と日本経済の課題 ③農業・食糧問題 ④中小企業の現状と課題 ⑤雇用と労働問題 ⑥社会保障と福祉 第3回考查	第2章 現代の経済 4節 社会福祉と日本経済の課題 ③農業・食糧問題 農業の現状を理解させ、今後の農業のあり方について考えさせる。 ④中小企業の現状と課題 日本における中小企業の位置づけ認識させ、大企業との格差や中小企業の課題について考えさせる。 ⑤雇用と労働問題 労働問題の歴史、労働三権の内容や労働市場の変化などについて理解させ、労働をめぐる環境の変化や現在の雇用問題について考えさせる。 ⑥社会保障と福祉 社会保障の意義やしくみ、少子高齢化が進む日本の現状について理解させ、日本の社会保障制度の課題について考察させる。 第3回考查	【思考・判断・表現力】 ・発問状況 ・課題内容 【関心・意欲・態度】 ・授業態度 ・課題提出状況 【知識・理解】 第3回考查	12 考查 1
11月	第2章 現代の経済 5節 国民経済と国際経済 ①貿易と国際収支 ②国際経済体制の展開 ③発展途上国の経済 ④地域主義の動き ⑤グローバル化する世界経済	第2章 現代の経済 5節 国民経済と国際経済 ①貿易と国際収支 自由貿易の考え方や歴史を認識させ、外国為替の方法、為替レートの変動、国際収支について理解させる。 ②国際経済体制の展開 IMF-GATT体制の成立からWTOの成立までの戦後の国際経済の歩みを認識させ、自由貿易をめぐる現在の課題について考えさせる。 ③発展途上国の経済 南北問題がすすんだ要因について考えさせ、経済格差を是正する取り組みについても理解させる。 ④地域主義の動き 地域経済統合の広がりについて理解させ、自由貿易協定・経済連携協定の進展についても考えさせる。 ⑤グローバル化する世界経済 グローバル化が進む世界経済の現状と課題について理解させ、日本の果たすべき役割について考えさせる。	【思考・判断・表現力】 ・発問状況 ・課題内容 【関心・意欲・態度】 ・授業態度 ・課題提出状況	18
12月	第3章 現在社会の諸課題 1節 日本社会の諸課題 ①少子高齢化において社会保障はどうあるべきか？ ②地域社会を活性化するにはどうすればよいのか？ ③どのようにして若者の労働環境を改善するか？ 第4回考查 ④中小企業の活路はどこか？	第3章 現在社会の諸課題 1節 日本社会の諸課題 ①少子高齢化において社会保障はどうあるべきか？ グループ間などで、福祉社会を推進する立場と各人の自助努力を推進する立場でその考え方を共有させる。その際、北欧諸国やアメリカなどの海外の事例についても考察させる。 ②地域社会を活性化するにはどうすればよいのか？ グループに分け、自分たちの住んでいる地域の町おこしの試みについて調べさせ、プレゼンテーションを行う。 ③どのようにして若者の労働環境を改善するか？ 若者が生きがいをもって働くために必要なことについて討論させ、どのような労働環境や労働者の意識が必要か抽出していく。 第4回考查 ④中小企業の活路はどこか？ 中小企業の発展に必要なことは何か、多様な意見を出させ、プレゼンテーションを行う。	【思考・判断・表現力】 ・発問状況 ・課題内容 【関心・意欲・態度】 ・授業態度 ・課題提出状況 【知識・理解】 第4回考查	10 考查 1

1 月	第3章 現在社会の諸課題 2節 国際社会の諸課題 ①地球環境にやさしいエネルギーをどう確保するか？ ②経済援助は貧困を削減できるのか？ ③パレスチナ問題とは何か？ ④地球社会で日本がなすべきことは何か？ 総復習	第3章 現在社会の諸課題 2節 国際社会の諸課題 ①地球環境にやさしいエネルギーをどう確保するか？ 原子力発電を推進すべきかどうかについて意見を書き出させ話合わせる。また、各エネルギー源についてメリット・デメリットを調べさせるとともに、地球温暖化への対応についても考えさせる。 ②経済援助は貧困を削減できるのか？ 発展途上国の現状や国連など国際機関の取り組みについて調べさせ、経済援助の意義と問題点について考察させる。先進国と途上国に分かれてロールプレイを行うことも考える。 ③パレスチナ問題とは何か？ 歴史的経緯については世界史などと関連づけて調べさせる、また、問題解決のために何が必要か、グループでアイデアを出させ、整理してプレゼンテーションを行う。 ④地球社会で日本がなすべきことは何か？ 地球社会の一員として自分たちに出来ることは何か意見を出させ、その意義を交えて発表させる。	【思考・判断・表現力】 ・発問状況 ・課題内容 【関心・意欲・態度】 ・授業態度 ・課題提出状況	8
2 月				
3 月				

大島海洋国際高等学校 令和5年度 教科 理科 科目 生物 年間授業計画

教科：理科 目：生物 単位数：4単位
対象学年組：第3学年A組、B組
教科担当者：A組、B組：田中 遼
使用教科書：改訂 生物 [東京書籍]
使用教材：九訂版 スクエア最新図説生物neo [第一学習社]、セミナー生物 [第一学習社]

	指導内容	科目 生物 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	春季休業（終）			12
	1編 生命現象と物質 1章 生体物質と細胞	・真核細胞内の細胞小器官の構造とはたらきについて理解させる。 ・生体膜は主にリン脂質とタンパク質から構成されることを理解させる。 ・細胞骨格の構造と機能を理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・授業プリント ・実験プリント 【思考・判断・表現】 ・授業プリント ・実験プリント 【観察・実験の技能】 ・実験プリント	
	2章 タンパク質の構造と酵素	・タンパク質の立体構造について理解させる。 ・酵素のはたらきに、酵素タンパク質の立体構造が深く関わっていることを理解させる。		
	3章 細胞間の相互作用とタンパク質	・チャネルやポンプなどの膜タンパク質が、生体膜の透過性や物質輸送に関わることを理解させる。 ・タンパク質が物質輸送や細胞間の情報伝達に関わっていることを例を挙げて説明できるようにする。		
	4章 代謝とエネルギー	・呼吸において有機物が分解され、ATPが合成されるまでの各過程を理解させる。 ・アルコール発酵、乳酸発酵でATPが合成される過程を理解させる。		
5月	4章 代謝とエネルギー	・光合成において光エネルギーが化学エネルギーに変換される各過程（光化学系、電子伝達系、カルビン・ベンソン回路）を理解させる。 ・光合成細菌による光合成と化学合成細菌による炭酸同化について理解させる。 ・植物体に無機窒素が吸収されて、アンモニアが有機窒素化合物に取り入れられる過程を理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・授業プリント ・実験プリント 【思考・判断・表現】 ・授業プリント ・実験プリント ・定期考査記述問題 【観察・実験の技能】 ・実験プリント ・定期考査 【知識・理解】 ・定期考査	11
	5編 生体と環境 1章 生物の多様性と生態学 2章 個体群と生物群集	・種内競争や社会性を例に、個体群内の相互作用によって個体群密度が一定の範囲に保たれていることを理解させる。 ・捕食と被食、種間競争や相利共生を例に、個体群間の相互作用について説明できるようにする。 ・多様な種が共存する仕組みについて、食物や生息場所の過不足に注目して理解する。		
	3章 生態系の物質生産とエネルギーの流れ	・年間生産量と生産者の現存量に注目して、森林・草原・海洋などの生態系の物質生産の特徴を挙げられるようにする。 ・生産者により生態系に取りこまれたエネルギー量が、栄養段階が上がるにつれて減少していくことを理解させる。		
	1学期中間考査			
6月	4章 生態系と生物多様性	・生物の多様性について、種・遺伝子・生態系の3つの視点があることを理解させる。 ・攪乱により生物の多様性が維持されたり、変化したりすることがあることを理解させる。 ・極端な生息地の分断化や個体数の減少などが個体群の絶滅を加速する要因になることを理解させる。 ・外来生物の移入によって絶滅が起こりやすくなることを理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・授業プリント ・実験プリント 【思考・判断・表現】 ・授業プリント ・実験プリント 【観察・実験の技能】 ・実験プリント	16
	2編 遺伝子のはたらき 1章 DNAの構造と複製	・DNAの複製の仕組み（半保存的複製）について理解させる。 ・DNAの複製におけるDNAポリメラーゼのはたらきと性質について理解させる。		
	2編 遺伝子のはたらき 2章 遺伝情報の発現	・転写、スプライシング及び翻訳の過程を理解させる。 ・塩基配列の変化によって、合成されるタンパク質のアミノ酸配列に変化が起こることを理解させる。 ・塩基配列の変化が種内でのゲノムの多様性につながることを理解させる。		
	3章 遺伝子の発現調節	・遺伝子の発現が調節されていることについて、転写レベルの調節を例に説明できるようにする。 ・遺伝子の発現が調節されることによって、細胞の分化が起こることを理解させる。		
	4章 バイオテクノロジー	・遺伝子組換え技術における制限酵素やベクターの役割について理解させる。 ・PCR法によって目的のDNA断片を増幅するしくみを理解させる。		

	指導内容	科目 生物 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	1学期期末考査		【関心・意欲・態度】 ・授業プリント ・実験プリント 【思考・判断・表現】 ・授業プリント ・実験プリント ・定期考査記述問題 【観察・実験の技能】 ・実験プリント ・定期考査 【知識・理解】 ・定期考査	5
	3編 生殖と発生 1章 生物の有性生殖	・減数分裂によって遺伝子が配偶子に分配され、受精が起きる結果、多様な遺伝的組合せが生じることを理解させる。 ・減数分裂の際に染色体の乗換えによって遺伝子の組換えが起こること、組換えによって新たな連鎖が起こることを理解させる。		
	夏季休業（始）			
8 月				
	夏季休業（終）			
9 月	3編 生殖と発生 2章 動物の発生 3章 動物の発生のしくみ	・動物の配偶子形成について、減数分裂を含む一連の過程によって卵や精子ができることを理解させる。 ・受精の過程について、ウニの受精を例に説明できるようにする。 ・カエルの発生を例に、卵割から神経胚までの発生過程を理解させる。 ・ショウジョウバエの発生を例に、胚の前後軸の決定に卵の細胞質における不均一性が関与していることを理解させる。 ・細胞の分化と形態形成における形成体のかかわりについて、両生類を用いた実験を例に理解させる。 ・誘導の連鎖について、両生類の胚の眼の形成を例に理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・授業プリント ・実験プリント 【思考・判断・表現】 ・授業プリント ・実験プリント ・小テスト 【観察・実験の技能】 ・実験プリント 【知識・理解】 ・小テスト	10
	4章 植物の発生	・被子植物における精細胞と卵細胞の形成過程と重複受精による胚と胚乳の形成について理解させる。 ・ABCモデルを例に、花の形態形成における遺伝子の働きについて理解させる。		
10 月	4編 生物の環境適応 1章 動物の刺激の受容と反応	・神経に興奮が発生して伝えられる仕組みを理解させる。 ・眼や耳の感覚細胞が刺激を受容する仕組みを理解させる。 ・筋肉の筋原繊維が収縮する仕組みを理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・授業プリント ・実験プリント 【思考・判断・表現】 ・授業プリント ・実験プリント ・定期考査記述問題 【観察・実験の技能】 ・実験プリント ・定期考査 【知識・理解】 ・定期考査	15
	2章 動物の行動	・刺激に対する反応としての動物個体の行動を神経系における情報の流れを関連付けて説明できるようにする。		
	2学期中間考査			
11 月	4編 生物の環境適応 3章 植物の環境応答	・植物が植物ホルモンや光受容体の働きで環境変化に反応する仕組みを、発芽調節や花芽形成などを例に説明できるようにする。		16
	6編 生物の進化と系統 1章 生命の起源と生物の変遷	・生命の誕生とその後の生物進化を環境条件の変化と関連付けて理解させる。	【関心・意欲・態度】 ・授業プリント ・実験プリント 【思考・判断・表現】 ・授業プリント ・実験プリント 【観察・実験の技能】 ・実験プリント	
	2章 進化の仕組み	・生物進化が突然変異、自然選択、遺伝的浮動などによって起こることを理解させる。		

	指導内容	科目 生物 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 2 月			【関心・意欲・態度】 ・授業プリント ・実験プリント	9
	2学期期末考査		【思考・判断・表現】 ・授業プリント ・実験プリント ・定期考査記述問題	
	6編 生物の進化と系統 3章 生物の系統	・DNAの塩基配列などを比較することによって系統関係が調べられることを理解させる。	【観察・実験の技能】 ・実験プリント ・定期考査 【知識・理解】 ・定期考査	
	冬季休業（始）			
1 月	冬季休業（終）		【関心・意欲・態度】 ・授業プリント ・実験プリント 【思考・判断・表現】 ・授業プリント ・実験プリント 【観察・実験の技能】 ・実験プリント	6
	1年間の総復習・問題演習	問題演習等を通じて、「生物」の学習内容を定着させる。		
2 月				
3 月				

大島海洋国際高等学校 令和5年度 教科理科 科目物理 年間授業計画

教科：理科 科目：物理 単位数： 4 単位
対象学年組： 第3 学年A組～B組）
教科担当者：（A組： 松柴直樹 ）（B組： 松柴直樹 ）
使用教科書：（物理 新訂版（実教出版））
使用教材：（実践アクセス総合物理（浜島書店） フォトサイエンス物理図録（数研出版））

	指導内容	科目物理の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	1章 様々な運動 1節 平面内の運動と剛体のつり合い ①運動の表し方 ②落体の運動	2次元平面上で、速度、加速度のベクトルを用いた表し方を理解させ、速度の合成、分解、相対速度について理解させる。 平面上での運動をベクトル表示、成分表示の双方から理解させる。 水平投射、斜方投射について水平方向と鉛直方向とで分けて等速直線運動と等加速度直線運動の式が立てれる。	課題学習 【知識・理解】 授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する回答 【思考・判断・表現】	8
5月	1章 様々な運動 1節 平面内の運動と剛体のつり合い ③剛体にはたらく力 2 節 運動量の保存 ①運動量と力積 ②運動量の保存 ③衝突とエネルギー 1学期中間考査	剛体と質点の違いを理解し、剛体には並進運動のほか回転運動がはたらく可能性があることを説明できる。 力のモーメントを理解させる。 剛体の静止条件を説明できる。 平行な2力の合成から、重心について理解させる。 剛体の転倒、安定を理解させる。 運動量と力積の関係を理解させる。 保存量という観点から運動量をとらえさせ、運動量保存の法則を理解させる。 運動量保存と力学的エネルギー保存の違いが説明できる。	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する回答 【思考・判断・表現】 提出課題 【知識・理解】 【関心・意欲・態度】 1学期中間考査 【知識・理解】	13
6月	1章 さまざまな運動 3節 円運動と単振動 ①等速円運動 ②慣性力 ③単振動 4節 万有引力 ①ケプラーの法則 ②万有引力 ③万有引力による位置エネルギー	慣性力の考え方を理解させる。 等速円運動の速度、角速度、向心加速度、向心力や遠心力について理解させる。 単振動と円運動の関係を通して、単振動の周期、変位、速度、加速度を理解させる。 ケプラーの法則を理解させる。 ケプラーの法則から万有引力の法則を導く過程を理解させる。 万有引力を受ける物体の運動を理解させる。	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する回答 【思考・判断・表現】 提出課題 【知識・理解】 【関心・意欲・態度】	14
7月	3章 電気と磁気 1節 電荷と電場 ①静電気 ②電場 ③電位と電位差 ④電場中の導体 ⑤コンデンサー 2節 電流 ①電気回路 ②直流回路 1学期期末考査	摩擦電気を通して、帯電の仕組み、電気量の保存を理解させる。 電場と電位差の関係を理解させる。 平行版コンデンサーを具体例として取り扱い、静電気現象の理解を深める。 コンデンサーの合成容量が理解でき、並列接続・直列接続の合成容量が求められる。 直流回路の性質を理解させ、様々な直流回路に共通する概念を理解させる。 回路方程式を一般化として示し、あらゆる状況で立式ができる。	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する回答 【思考・判断・表現】 提出課題 【知識・理解】 【関心・意欲・態度】 1学期期末考査 【知識・理解】	9

	指導内容	科目物理の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8月				
9月	3章 電気と磁気 ①磁場 ②電流のつくる磁場 ③電流が磁場から受ける力 ④ローレンツ力 4節 電磁誘導と電磁波 ①電磁誘導の法則 ②自己誘導と相互誘導 ③交流	電流が磁場から受ける力の性質を理解させ、運動する荷電粒子が磁場から受けるローレンツ力がより基本的なものであることを理解させる。 電流のつくる磁場の性質を理解させる。 電磁誘導の法則を理解させる。 ローレンツ力起原の起電力を理解させる。 交流回路の基本、特に交流回路におけるコイルとコンデンサーの役割を理解させる。	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する回答 【思考・判断・表現】 提出課題 【知識・理解】 【関心・意欲・態度】	12
10月	3章 電気と磁気 4節 電磁誘導と電磁波 ④電気振動と共振 ⑤電磁波 2章 波 1節 波の伝わり方 ①波の表し方 ②波の干渉 ③波の伝わり方 2節 音 ①音の伝わり方 ②ドップラー効果 2学期中間考査	電磁波の放射の仕組みを定性的に理解させ、電波の性質を理解させる。 LとCを含む回路における電気振動と固有周波数を理解させる。 回路の抵抗が0ならば、コンデンサーの電場のエネルギーとコイルの磁場のエネルギーの和は保存することを理解させる。 力学や波動における共振と同様、電気回路でも共振が起こることを理解させる。 単振動と円運動から正弦波の式が導き出せることを理解させる。 波特有の現象である干渉は、重ね合わせの原理から説明できることを理解させる。 ホイヘンズの原理から波の回折、屈折、反射を理解させる。 音の伝わり方は、波の性質を示すことを理解させる。 ドップラー効果を波の伝わり方から理解させる。 観測者が運動する場合や音源、観測者がともに運動する場合のドップラー効果を説明できる。	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する回答 【思考・判断・表現】 提出課題 【知識・理解】 【関心・意欲・態度】 2学期中間考査 【知識・理解】	15
11月	2章 波 3節 光 ①光の伝わり方 ②光の分散・散乱・偏光 ③レンズと球面鏡 ④光の回折と干渉	光の速さが媒質によって変化するために、屈折が起こることを理解させる。 光は横波であること、色は波長の違いによるものであることが説明できる。 夕日と晴天の空の色が違う理由が説明できる。 レンズと球面鏡の特徴から、屈折と反射の理解を深めさせる。 光の回折や干渉など、光が波であることを示す典型的な現象をヤングの実験から理解させる。 くさび型空気層による干渉やニュートンリングについて理解させる。	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する回答 【思考・判断・表現】 提出課題 【知識・理解】 【関心・意欲・態度】	16
12月	1章 さまざまな運動 5節 気体分子の運動 ①気体の状態方程式 ②気体分子の運動 ③気体の内部エネルギー ④気体の状態変化 4章 原子 1節 原子と光 ①電子 ②光の粒子性 ③電子の波動性 2節 原子と原子核 ①原子の構造 ②原子核 ③原子核反応 ④素粒子 2学期期末考査	気体の圧力は、気体分子の運動によって生じることを理解させる。 ボイルの法則、シャルルの法則、ボイルシャルルの法則、理想気体状態方程式を理解させる。 気体の内部エネルギー、気体の仕事について理解させる。 気体の状態変化に対して、熱力学第1法則が適用できることを理解させる。 気体の定積比熱と定圧比熱について理解させる。 熱力学第2法則について理解させる。 光電効果の実験とアインシュタインの光の量子論を理解させる。 光やX線の二重性について理解させる。 原子の構造とボーアの水素原子モデルを理解させ、水素原子のスペクトルについて理解させる。 原子核の構成や変化について理解させる。 原子核の構成に伴う放射線の放出について理解させる。 放射線の性質について理解させる。 素粒子の概要について理解させる。	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する回答 【思考・判断・表現】 提出課題 【知識・理解】 【関心・意欲・態度】 2学期期末考査 【知識・理解】	11

	指導内容	科目物理の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	5章 物理学が拓く未来 ①相対性理論と膨張宇宙 ②シミュレーション化学 ③エネルギー資源の有効利用 ④磁気による情報記録	現代物理学の先端研究や技術革新について理解させる。 エネルギーの利用と未来について理解させる。	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する回答 【思考・判断・表現】 提出課題 【知識・理解】 【関心・意欲・態度】	8
2 月				
3 月				

教科:(理科)科目:(化学) 対象:(第 3 学年 A 組 ～ B 組) 4単位
教科担当者:(佐藤 義幸 ㊞)
使用教科書:(改訂 新編 化学 (東京書籍))
使用教材 : (ニューステップアップ化学(東京書籍)、サイエンスビュー化学総合資料(実教出版))

	指導内容 【年間授業計画】	化学の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	2編：化学反応とエネルギー 1章：化学反応と熱・光 1節. 反応熱と熱化学方程式 2節. ヘスの法則 3節. 光とエネルギー	化学反応と熱の出入りについて理解させる。 熱化学方程式の書き方と熱化学方程式の意味を理解させる。 ヘスの法則を理解させる。 化学発光について理解させる。	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】	12
5 月	3編：化学反応の速さと平衡 1章：化学結合の速さ 1節. 反応の速さ 2節. 反応速度を変える条件 3節. 反応のしくみ 2章：化学平衡 1節. 可逆反応と化学平衡 2節. 平衡の移動 3章：水溶液中の化学平衡 1節. 電離平衡 2節. 塩と化学平衡 【1学期中間考査】	反応速度は温度、濃度、触媒、表面積などの反応の条件などにもよっても変化することを理解させる。 反応速度式及びその比例定数である反応速度定数について理解させる。 活性化状態と活性化エネルギーについて理解させる。 化学平衡の状態において、正反応の速度＝逆反応の速度が成り立つことを理解させる。 濃度の変化や圧力の変化によって平衡が変化すること（ルシャトリエの原理）を理解させる。 電離平衡について理解させる。 塩の水溶液の液性と加水分解における電離平衡を説明する。	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】 定期考査 【知識・理解】	13
6 月	2編：化学反応とエネルギー 2章：電池と電気分解 1節. 電池 2節. 電気分解	電池の原理を酸化還元反応と関連付けて説明できる。 ボルタ電池およびダニエル電池の原理を金属のイオン化傾向と関連付けて説明できる。 マンガン電池及び鉛蓄電池の原理を説明できる。 鉛蓄電池に関する化学反応の量的関係を計算できる。 燃料電池及び実用電池の原理を説明できる。 金属のイオン化傾向を示し、酸化剤と還元剤の反応における電子の授受について理解させる。 電気分解の原理を酸化還元反応と関連付けて説明できる。 電気分解における陰極の還元反応、陽極の酸化反応について理解させる。 イオン交換膜法、電気めっき、電解製錬、溶融塩電解について説明できる。 電気化学に関する観察・実験の基本操作や記録ができる。 電気分解の量的関係を計算できる。 流れた電流の量から生成物の量を計算できる。	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】	16
7 月	1編：物質の状態 1章：物質の状態 1節. 物質の三態 2節. 気体・液体間の状態変化 2章：気体の性質 1節. 気体 2節. 気体の状態方程式 3章：溶液の性質 1節. 溶解 2節. 希薄溶液の性質 3節. コロイド 【1学期期末考査】	物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連付けて理解させる。 また状態の変化に伴うエネルギーの出入り及び状態間の平衡と温度や圧力の関係について理解させる。 ボイル・シャルルの法則を理解させる。 気体の状態方程式が導出でき、計算問題を解くことができる。 溶液の仕組みを理解させる。また、溶解度を溶解平衡と関連付けて理解させる。 沸点上昇度が、溶液の種類に無関係で、溶液の質量モル濃度に比例していることを理解させる。 コロイド、コロイド粒子、コロイド溶液について理解させる。	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】 定期考査 【知識・理解】	5

	1 節. 反応熱と熱化学方程式 2 節. ヘスの法則	熱化学方程式の書き方と熱化学方程式の意味を理解させる。 ヘスの法則を理解させる。 化学反応の理解させる。	発問に対する発言 【思考・判断・表現】	
8 月		【夏季休業】		
9 月	1 編：物質の状態 4 章：化学結合と固体の構造 1 節. 結晶の種類と性質 2 節. 金属結晶の構造 3 節. イオン結晶の構造 4 節. 分子結晶の構造 5 節. 共有結合の結晶と非晶質 5 編：有機化合物 1 章：有機化合物の特徴と構造 1 節. 有機化合物の特徴 2 章：炭化水素 1 節. 飽和炭化水素 2 節. 不飽和炭化水素 3 節. 有機化合物の分析	イオン結晶、分子結晶、共有結晶、金属結晶について理解させる。対心立方格子、面心立方格子、六方最密構造について理解させる。 有機化合物の定義と特徴を説明できる。 有機化合物の化学式を実験結果から求められる。 有機化合物に関する観察・実験の基本操作や記録ができる。 有機化合物と無機化合物を比較し、構成元素の種類は少ないにもかかわらず、化合物の種類はきわめて多いことを示す。 命名法に基づき炭化水素を命名できる。 脂肪族炭化水素の物理的・化学的性質を構造式と関連付けて説明できる。 炭化水素の構造異性体を区別できる。 有機化合物に関する観察・実験の基本操作や記録ができる。 アルカン、アルケン、アルキンの代表的なものを示し構造を理解させる。 成分元素の検出方法について理解させる。	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】	10
10 月	3 章：アルコールと関連化合物 1 節. アルコールとエーテル 2 節. アルデヒドとケトン 3 節. カルボン酸とエステル 4 節. 油脂とセッケン 4 章：芳香族化合物 1 節. 芳香族炭化水素 2 節. 酸素を含む芳香族化合物 3 節. 窒素を含む芳香族化合物 【2学期中間考査】	酸素を含む脂肪族化合物を命名法に基づいて命名できる。 アルコール、エーテル、アルデヒド、カルボン酸の反応性を構造と関連付けて説明できる。 銀鏡反応やヨードホルム反応から構造式を推測できる。 光学異性体について説明できる。 油脂、セッケン、界面活性剤の性質を説明できる。 けん化価とヨウ素価を計算により求められる。 アルコールの構造とエーテルの構造について理解させる。 カルボニル基、アルデヒド基について理解させ、ケトンの性質を示す。 カルボン酸の一般式を理解させる。 油脂の構成について理解させる。 ベンゼン環を含む化合物について命名法に基づき命名できる。 ベンゼンの構造を理解し、反応性を説明できる。 フェノール類の反応を構造と関連付けて説明できる。 塩化鉄(Ⅲ)による呈色反応により構造式を推定できる。 フェノールの製法について説明できる。 芳香族カルボン酸の反応性および医薬品としての利用について説明できる。 アニリンの製法および性質について説明できる。 ジアゾカップリングについて説明できる。 アゾ化合物の利用について説明できる。 芳香族アミンの構造と性質を理解させる。	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】 定期考査 【知識・理解】	15
11 月	6 編：高分子化合物 1 章：天然高分子化合物 1 節. 天然高分子化合物 2 節. 単糖類・二糖類 3 節. 多糖類 4 節. アミノ酸 5 節. タンパク質 6 節. 核酸 2 章：合成高分子化合物 1 節. 合成高分子化合物 2 節. 合成繊維 3 節. プラスチック（合成樹脂） 4 節. ゴム 3 章：高分子化合物と人間生活 1 節. 機能性高分子 2 節. プラスチックの廃棄処理	高分子化合物の種類について理解させる。 糖類の一般式を理解させる。 糖類の種類を理解させる。 アミノ酸の一般式を理解させる。 タンパク質はアミノ酸が多数結合してできていることを理解させる。 核酸について理解させる。 ポリエチレンテレフタラートの縮合について理解させる。 ナイロンの合成反応について理解させる。 熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、イオン交換樹脂について理解させる。 生ゴムの構造を理解させる。 高吸水性高分子、生分解性高分子、導電性高分子、感光性高分子について理解させる。 プラスチックのリサイクルについて触れ理解させる。	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】	14
12 月	5 編：有機化合物 5 章：有機化合物と人間生活 1 節. 染料・医薬品 2 節. 合成洗剤 3 節. 食品 【2学期期末考査】	有機化合物の染料、医薬品としての利用について説明できる。 合成洗剤とセッケンの違いについて理解し、説明できる。 糖類、タンパク質などについて理解を深める。	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】 定期考査 【知識・理解】	9

	1 節. 反応熱と熱化学方程式 2 節. ヘスの法則	熱化学方程式の書き方と熱化学方程式の意味を理解させる。 ヘスの法則を理解させる。	発問に対する発言 【思考・判断・表現】	
1 月	4 編: 無機物質 1 章: 周期表と元素 1 節. 周期表と元素 2 章: 非金属元素の単体と化合物 1 節. 水素と希ガス 2 節. ハロゲンとその化合物 3 節. 酸素・硫黄とその化合物 4 節. 窒素・リンとその化合物 5 節. 炭素・ケイ素とその化合物 3 章: 典型金属元素の単体と化合物 1 節. アルカリ金属とその化合物 2 節. 2 族元素とその化合物 3 節. 1, 2 族以外の典型金属元素とその化合物 4 章: 遷移元素の単体と化合物 1 節. 遷移元素とその化合物 2 節. 金属イオンの分離・確認 5 章: 無機物質と人間生活 1 節. 金属の利用 2 節. 合金 3 節. セラミックス	 水素の性質について理解させる。希ガスは安定しており、化合物を作らず、単原子として存在していることを理解させる。 ハロゲンはとても反応しやすく原子番号順に酸化力が小さいことを理解させる。 酸素の性質と化合物について理解させる。 窒素、リンの性質について理解させる。 炭素・ケイ素の単体と化合物について理解させる。アルカリ金属の単体の性質、単体の保存法について理解させる。 1 族元素の性質とその化合物及び工業製法（アンモニアソーダ法）について理解させる。 2 族元素の性質とその化合物及び生活で利用されているものを理解させる。 アルミニウム、亜鉛、スズが両性元素であることを理解させる。 遷移元素の例として銅、銀、鉄、クロム、マンガンをだし理解させる。 金属イオンの検出反応を確認し、金属イオンの分離を理解させる。 金属の特性、主な金属の性質を理解させる。 代表的な合金を確認し理解させる。 セラミックスの意味を理解させる。	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】	8
2 月				
3 月				

東京都立大島海洋国際高等学校 令和5年度 教科：「英語」 科目：「総合英語H」 年間授業計画

教科：英語 科目：総合英語H 単位数：2単位
対象学年組：第3学年A組
教科担当者：（発展：横戸 圭）（標準：河澄 さつき）
使用教科書：（なし）
使用教材：（Aviator 600（いいずな書店））

	指導内容	科目「総合英語H」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	第1回 Bright Stage 英文法・語法問題	・これまでに学習した文法事項を用いて、大学入試レベルの英文法に関する問題に取り組むことが出来る。	課題学習 ワークシート提出	5
5月	【以下通常授業】第2回 Bright Stage 英文法・語法問題	・これまでに学習した文法事項を用いて、大学入試レベルの英文法に関する問題に取り組むことが出来る。	ワークシート 小テスト	6
6月	第3・4回 Bright Stage 英文法・語法問題	・これまでに学習した文法事項を用いて、大学入試レベルの英文法に関する問題に取り組むことが出来る。	ワークシート 小テスト	8
7月	第5・6回 Bright Stage 英文法・語法問題 Bright Stage 英文法・語法問題	・これまでに学習した文法事項を用いて、大学入試レベルの英文法に関する問題に取り組むことが出来る。	ワークシート 小テスト	6
9月	第7回、第8回、第9回 Bright Stage 英文法・語法問題	・これまでに学習した文法事項を用いて、大学入試レベルの英文法に関する問題に取り組むことが出来る。	ワークシート 小テスト	6

	指導内容	科目「総合英語H」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	第10回、第11回、第12回 Bright Stage 英文法・語法問題	・これまでに学習した文法事項を用いて、大学入試レベルの英文法に関する問題に取り組むことが出来る。	ワークシート 小テスト	9
11 月	第13回、第14回、第15回 Bright Stage 英文法・語法問題	・これまでに学習した文法事項を用いて、大学入試レベルの英文法に関する問題に取り組むことが出来る。	ワークシート 小テスト	8
12 月	第16回、第17回 Bright Stage 英文法・語法問題	・これまでに学習した文法事項を用いて、大学入試レベルの英文法に関する問題に取り組むことが出来る。	ワークシート 小テスト	6
1 月	第18回、第19回 Bright Stage 英文法・語法問題	・これまでに学習した文法事項を用いて、大学入試レベルの英文法に関する問題に取り組むことが出来る。	ワークシート 小テスト	3

大島海洋国際高等学校 令和5年度 教科：水産、科目：海洋環境 年間授業計画

教科：水産 科目：海洋政策 単位数：2単位
対象学年組：第3学年A組選択
教科担当者：伊藤 陽介
使用教科書：海洋政策
使用教材：なし

	指導内容	科目「海洋政策」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	島国 日本 海洋と日本 日本海における文化交流	日本の地形を理解し、地形から見た海洋との関連を理解する。 日本と海洋が文化としてどのように活用されているのかを理解する。 日本と海外との文化交流の歴史について理解する	課題学習 【関心・意欲・態度】 授業中の取り組み 【関心・意欲・態度】	6
5月	日本海呼称問題 遣唐使の歴史 持続的な海洋の利用 考査 海洋を知る	相手国との意見や背景を踏まえて考察し、正しい判断力を養う。 遣唐使の目的と航路について理解する。 持続的に海洋を活用していくために必要な要素を理解する 海洋調査の必要性について理解する。	授業中の取り組み、発言 【思考判断表現・態度】 定期考査【知識・理解】	6
6月	海洋を知る 海洋を守る 海洋を利用する 海洋法の歴史	海洋調査の現状を理解し、具体的手法について考える。 海洋保全の重要性を理解し、具体的手法について考える。 海洋の活用法について理解し、これからの活用法について考える。 国連海洋法条約ができるまでの歴史について理解する。	授業中の取り組み、発言 【思考判断表現・態度】	6
7月	国連海洋法条約 考査	国連海洋法条約の重要性について理解する。	授業中の取り組み、発言 【思考判断表現・態度】 定期考査【知識・理解】	1
8月				
9月	領海 基線・湾	領海の定義や権利について理解する。 基線・湾の定義や権利について理解する。	授業中の取り組み、発言 【思考判断表現・態度】	5
10月	内水・島 接続水域 排他的経済水域 公海 考査	内水・島の定義や権利について理解する。 接続水域の定義や権利について理解する。 排他的経済水域の定義や権利について理解する。 公海の定義や権利について理解する。	授業中の取り組み、発言 【思考判断表現・態度】 定期考査【知識・理解】	7
11月	群島水域 無害通航権・追跡権 深海底 大陸棚 沖ノ島島問題	群島水域の定義や権利について理解する。 領海にまつわる問題について理解する。 深海底の定義や権利について理解する。 大陸棚の定義や権利について理解する。 相手国との意見や背景を踏まえて考察し、正しい判断力を養う。	授業中の取り組み、発言 【思考判断表現・態度】	8

	指導内容	科目「海洋政策」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12月	竹島問題 考査	相手国との意見や背景を踏まえて考察し、正しい判断力を養う。	授業中の取り組み、発言 【思考判断表現・態度】 定期考査【知識・理解】	4
1月	尖閣諸島問題 北方領土問題	相手国との意見や背景を踏まえて考察し、正しい判断力を養う。 相手国との意見や背景を踏まえて考察し、正しい判断力を養う。	授業中の取り組み、発言 【思考判断表現・態度】 定期考査【知識・理解】	4
2月				
3月				

都立大島海洋国際高等学校 令和5年度 教科総合 科目国際系課題研究 年間授業計画

教科： 総合 科目： 課題研究 単位数： 2単位

教科担当者：（A組：須賀、松柴）

使用教科書：（なし）

使用教材：（なし）

	指導内容	科目課題研究の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	小論文と作文の違い	小論文と作文の違いについて学ぶ	課題提出	4
5月	小論文を書いてみる	各テーマに関する小論文を書く	課題提出	6
6月	論文のテーマを決定する	研究したいテーマを学ぶ	ワークシート 課題提出	8
7月	論文を執筆する 論文を執筆する	論文を執筆する	ワークシート 課題提出	4
8月				
9月	・ 論文の中間発表を行う	論文を執筆し、またその内容について口頭で発表する	ワークシート 課題提出	6
10月	・ 論文を執筆する	論文を執筆する	ワークシート 課題提出	6
11月	・ 研究成果の発表を行う	論文を執筆し、研究成果発表にむけて準備をする	課題提出	8
12月	・ 研究成果の発表を行う	研究成果の発表をパワーポイントで発表する	課題提出	4
1月	・ 研究成果の発表を行う	研究成果の発表をパワーポイントで発表する	課題提出	6
2月				
3月				